

世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」のモニタリング・カルテ

1. モニタリングの種別・書式

(1) 種別

世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」のモニタリングは、以下の4つの種別に区分して実施する。

- ① 構成資産とその緩衝地帯のモニタリング
- ② 構成資産のモニタリング
- ③ 価値説明（Interpretation）に係る諸活動のモニタリング
- ④ 関係する諸団体のモニタリング

(2) 書式

1・(1)-①・②については、2に述べるように、それぞれ「モニタリング・カルテ」を作成し、毎年、結果を「年次報告書」（図4（5ページ）及び付属資料1の3・4・5に該当）にまとめる。

1・(1)-③・④については、「モニタリング・カルテ」を作成せずに、毎年、結果を「年次報告書」（図4（5ページ）及び付属資料の6・7に該当）にのみまとめる。

2. 構成資産とその緩衝地帯のモニタリング

(1) 構成資産とその緩衝地帯のモニタリング・カルテの性質及び目的

平成26年に日本が提出した世界遺産記載推薦書（英語版、337～338ページ／付属資料2（※本資料では割愛））では、緩衝地帯の設定の根拠として以下の2類型を示している。

類型-1

構成資産の直近の環境に負の影響を及ぼすかもしれない周辺地域の変化を制御するためのものであって、顕著な普遍的価値に表れている「位置・環境」、「利用・機能」等の属性を維持する観点から重要であるもの。

類型-2

構成資産からの展望又は構成資産への重要な展望に対する影響を及ぼすかもしれない周辺環境の変化を制御するためのものであって、顕著な普遍的価値に表れている「位置・環境」、「利用・機能」等の属性を維持する観点から重要であるもの。

さらに、**類型-1**に該当するものとして、直近の環境における開発行為を掲げるほか、**類型-2**に該当するものとして、「三菱長崎造船所第三船渠の操業を望む占勝閣のテラス又は庭園からの部分的な展望」、「三菱長崎造船所を望む長崎港対岸の旧グラバー住宅からの部分的な展望」、「官営八幡製鐵所旧本事務所と海岸との視覚的なつながり」の3つを掲げている。

上記の記述を踏まえ、構成資産とその緩衝地帯のモニタリング・カルテは、①構成資産に直近の緩衝地帯における開発行為を、当該構成資産に馴染んだ産業活動の観点から視覚的に観察できるものであるとともに、②構成資産内から緩衝地帯を望んだ場合、現時点における展望景観の状態を網羅的・体系的に集約し、将来にわたり景観上の負の影響が生じているか否か等について、定期的に展望景観の状況を観察できるものでなくてはならない。それは、開発行為の発生及び展望景観の改変の状況を把握し、影響の防止又は適切な修景等を行う上での判断材料となるものでもある。

したがって、構成資産とその緩衝地帯のモニタリング・カルテの作成にあたっては、構成資産とその緩衝地帯の適切な位置を選んで複数の定点を定め、そこから定期的に写真撮影を行うことによって定点からの展望景観の変化を把握し、誘導・修景等の対応を行うことが必要となる（図1）。

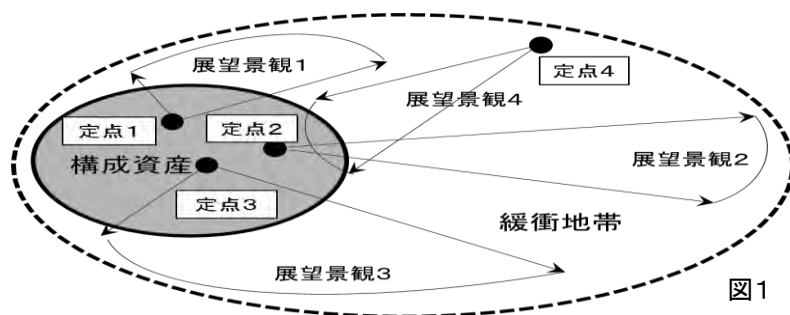


図1 定点観察による景観のモニタリング

(2) 構成資産とその緩衝地帯のモニタリング・カルテの構成—個票・調査台帳—

構成資産とその緩衝地帯のモニタリング・カルテは、個票・調査台帳の2部構成とする。

ア. 個票

構成資産と緩衝地帯の適切な位置を選んで複数の定点を定め、そこから定期的に写真撮影を行うことにより、展望景観の変化を把握し、誘導・修景等の対応を行うためのものであり、ひとつひとつの構成要素に対応して複数の個票が存在する。

イ. 調査台帳

複数の視点からの展望景観及び誘導・修景などの改善措置を総括的に示すことを目的として作成するものであり、複数から成る個票を総括的に1枚に取りまとめたものである。

3. 構成資産のモニタリング

(1) 「構成資産」、「構成要素」、「部位」の関係

世界遺産の構成資産(Component Parts)、構成要素(elements)、部位(members)の関係は、図2のとおりに整理できる¹。ただし、23の構成資産の各構成要素(顕著な普遍的価値以外の価値を表す要素も含む。)の名称は、原則として各々の管理保全計画(CMP)に記載した名称に統一する。

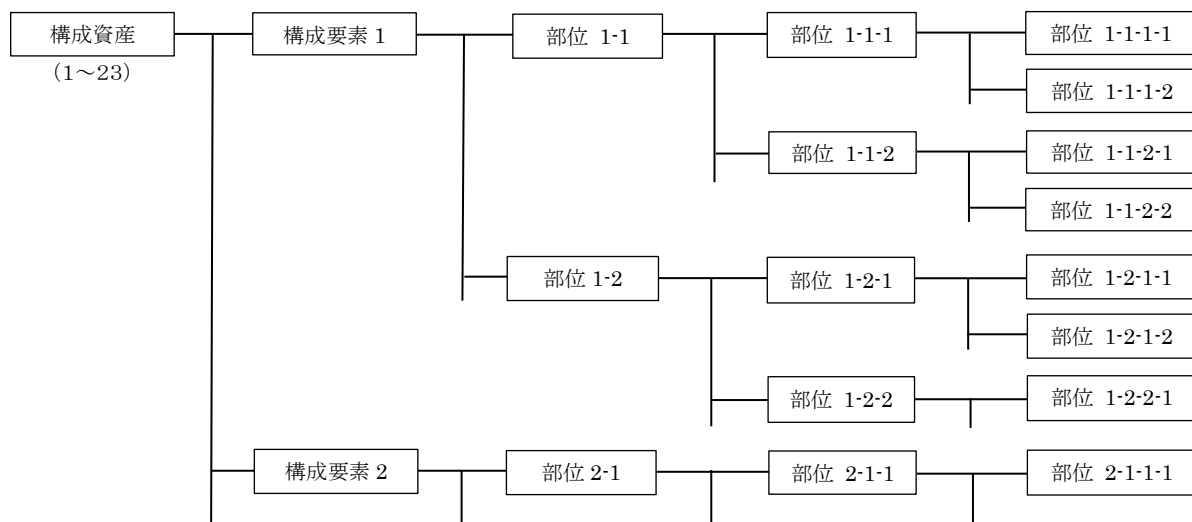


図2 構成資産(Component Parts)、構成要素(elements)、部位(members)の関係

¹ 稼働資産のうち、長崎造船所の管理保全計画(CMP)(12ページ)では以下の分類・定義を表として示しているが、この分類・定義は非稼働遺産においても同様に適用が可能である。

- 構成資産(Component Parts); 三菱長崎造船所は4つの構成資産(1. 第三船渠、2. ジャイアント・カンチレバー・クレーン、3. 占勝閣、4. 旧木型場)から成る。
- 構成要素(Elements); 構成資産を形づくる個々の部分

(2) 構成資産のモニタリング・カルテの性質及び目的

構成資産のモニタリング・カルテは、構成要素の現時点における情報を網羅的・体系的に集約したものであり、将来にわたり定期的に構成要素の状況をモニタリングしていくうえでの起点となるものである。

また、材料の摩耗、構造の緩み・孕みなど、構成要素の劣化・風化又は後代の改変の状況を把握し、適切な処方を行う上での判断材料となるものでもある。

したがって、構成資産のモニタリング・カルテの作成にあたっては、現状の構成要素に関する情報を確実に反映させるとともに、定期的に観察(目視等)を通じて情報を追加することにより、変化に対応していくことが重要である。

(3) 構成資産のモニタリング・カルテの構成—個票・調査台帳—

構成資産のモニタリング・カルテは、個票・調査台帳の2部構成とする。両者の関係は次ページの図3のとおりである。

ア. 個票

構成資産の各構成要素を成り立たせている部位ごとに現状の情報を網羅的に記録したものであり、ひとつひとつの構成要素に対応して複数の個票が存在する。

まず、個別の構成要素を各部位に分解し、部位ごとに個票を作成する。

個票には、1)各部位の目視による所見、2)今後の経過観察上の課題、3)観察期間等を記載する。

例えば建造物の場合には、構成要素である1棟の建造物を複数の部位(1階居室、便所、1階廊下、階段、2階廊下、2階居室等)に区分し、それぞれに含まれる①地盤・基礎、②床、③壁(四壁)の内面、④天井等々に分解し、さらには部材(柱・桁・梁・壁面・窓・棚等)を特定することが必要となる。

イ. 調査台帳

構成要素の全体に係る劣化・風化の状況への改善措置を総括的に示すことを目的として作成するものであり、複数から成る個票を総括的に1枚に取りまとめたものである。

(4) 4類型に基づく個票・調査台帳の標準様式

構成要素は概ね以下の4類型のいずれかに該当する。したがって、個々の類型に対応して4種類の個票・調査台帳の標準様式を作成する。各構成資産のモニタリング・カルテは、これらの標準様式に準拠して作成する。

- | | |
|-------------------|---|
| ① 石垣(石積み構造物を含む。) | ⇒「橋野鉄鉦山」を標準様式とする。 |
| ② 建造物 | ⇒「三池炭鉦 宮原坑」(重要文化財)、「旧集成館」の仙巖園(史跡及び名勝)を、各々の性質及び文化財類型に応じて標準様式とする。 |
| ③ 地下遺構及びそれらと一体の地形 | ⇒「橋野鉄鉦山」、「三池炭鉦 宮原坑」を標準様式とする。 |
| ④ 庭園・園池 | ⇒「旧集成館」の仙巖園を標準様式とする。 |

(5) 既存の「年次報告書」及び管理保全計画(CMP)第6章への追加修正

今回行う経過観察の構造・手法の再整理及びモニタリング・カルテの作成に伴い、以下の2点の作業が追加的に必要となる。

- ① 平成27年3月に内閣官房が作成した「年次報告書」を部分的に改定すること。
- ② 推薦にあたって作成した管理保全計画書(CMP)の第6章「経過観察」の部分的な改定。特に、第6章第1節において整理した経過観察の共通項目には、緩衝地帯における開発行為がもたらす負の影響を物理的・視覚的な側面から観察できるようモニタリングの指標・期間を加えること。管理保全計画書(CMP)の改定は、概ね6年ごとにユネスコへ提出する定期報告書の作成に併せて行う。

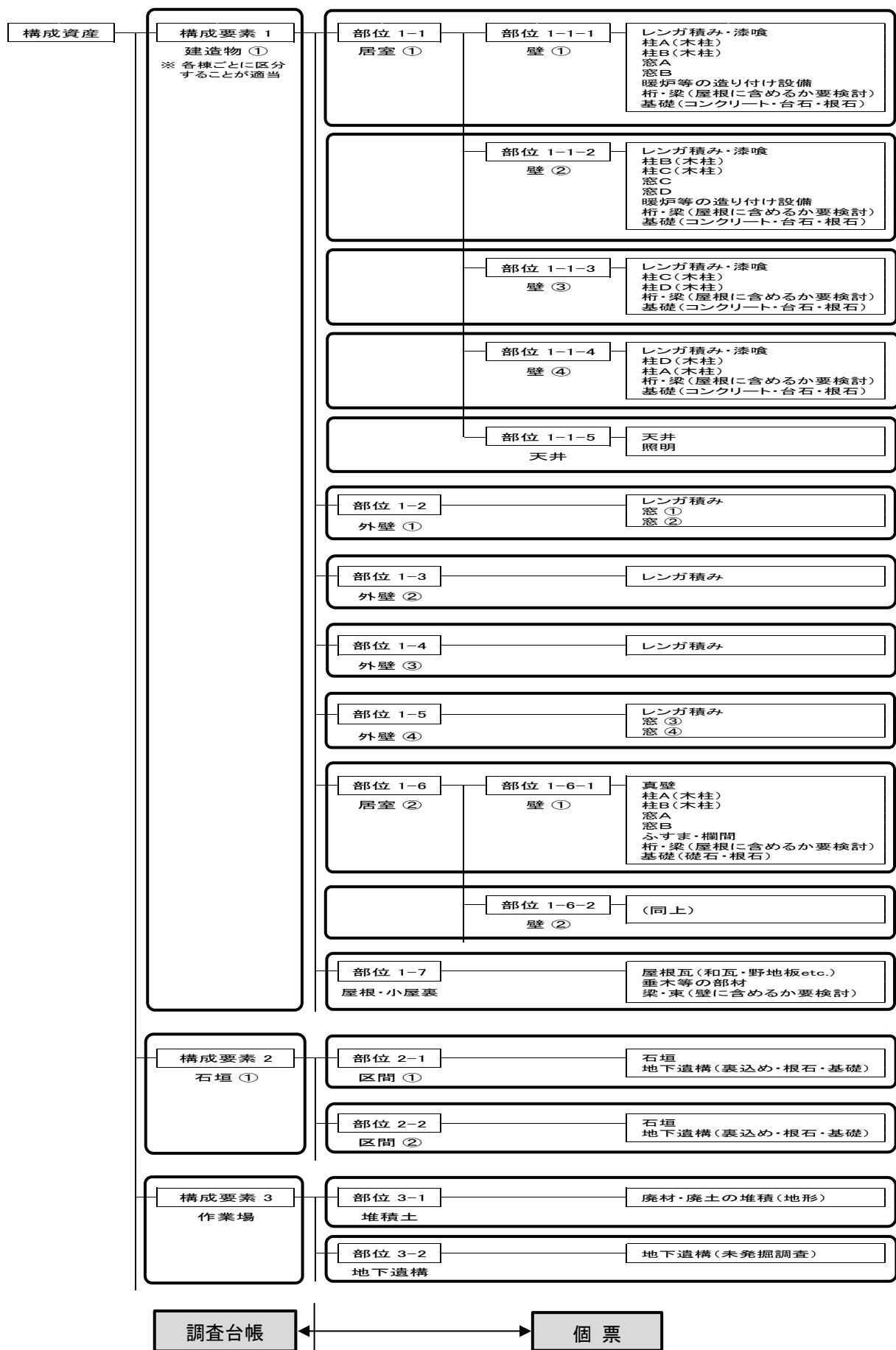


図3 構成資産・構成要素・部位と調査台帳・個票との関係(事例)

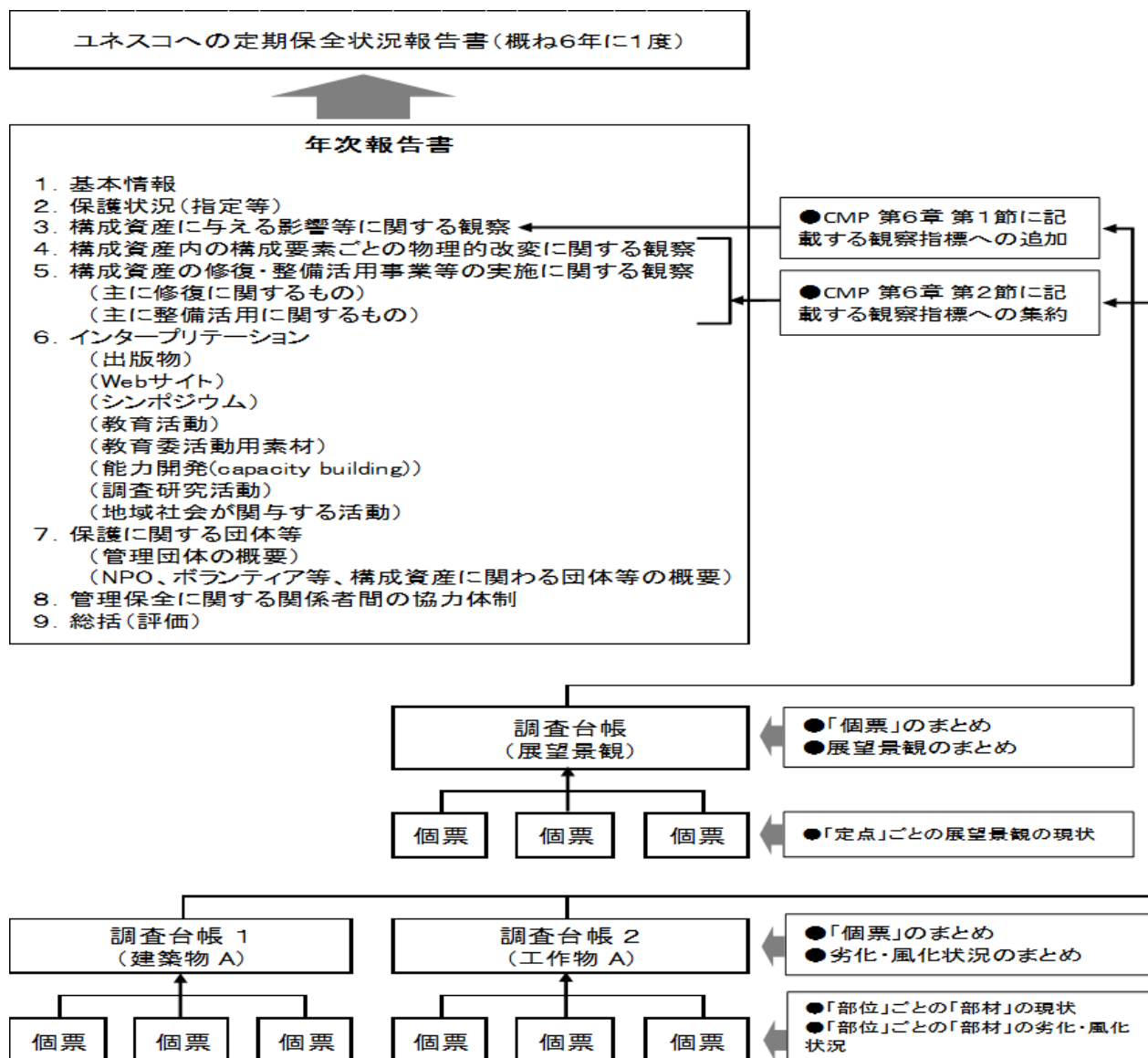


図4 ユネスコ保全状況報告書・年次報告書・調査台帳・個票の関係

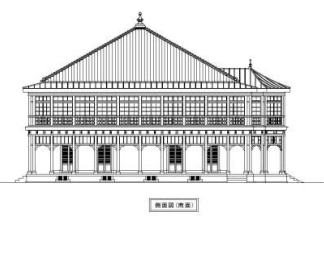
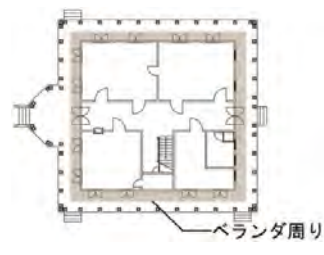
年度(西暦)	2015				2016												2017		
月	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	
既存のシステム	経過措置(年次報告書)																		
新システム														新システムによるモニタリング実施					
1. 年次報告書	一部修正のうえ使用																		
2. 調査台帳	案	完成(目標)			調査台帳・個票の作成と並行してブラッシュアップ										新調査台帳を使用				
3. 個票																	新個票を使用		
事例作成	案	完成(目標)																	
全体の完成					作成										完成				

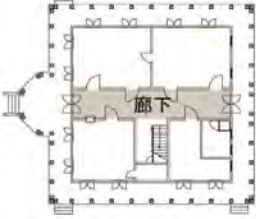
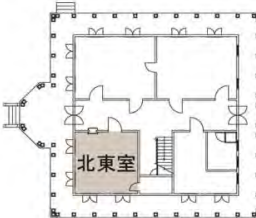
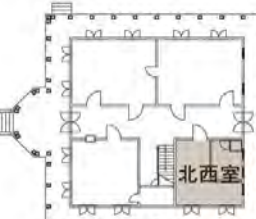
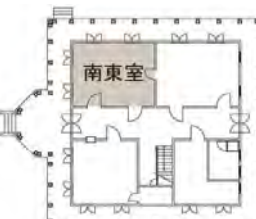
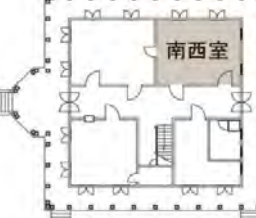
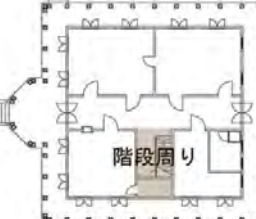
図5 平成27～29年度における日程

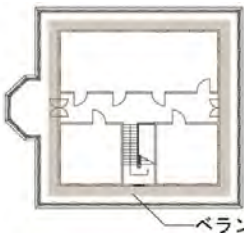
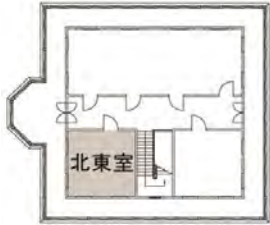
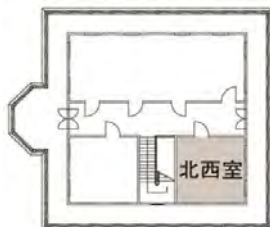
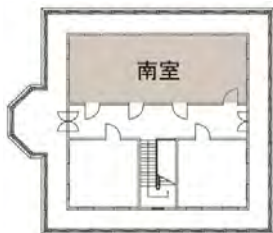
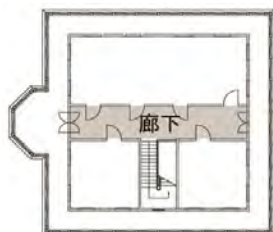
旧集成館、寺山炭窯跡、関吉の疎水溝におけるモニタリング・カルテの調査台帳・個票 (事例)

旧鹿兒島紡績所技師館モニタリング調査台帳／分類一覧

 =事例として調査台帳・個票を添付した箇所

構成要素	部位1	部位2	部 材
旧鹿兒島紡績所技師館	建造物の外観（各面）、各 部屋、外構等を単位に分類	「部分1」を構成する 部位（部分）を小分類 化（室内であれば、壁 面・天井面・床等を単 位とする）	部位2を構成する部材
▶1 	外観正面（東面）	屋根	瓦 瓦棒垂鉛引鉄板 雨樋（銅板） 屋根宝珠（瓦）
		基礎	基壇石 柱礎石
		柱・梁	木製柱・梁 手摺・手摺子
		外壁	壁面（木製・漆喰壁） 胴蛇腹（垂鉛引鉄板） 軒下小壁（木製） 窓枠（木製）
▶2 	外観側面（北面）	屋根	瓦 瓦棒垂鉛引鉄板 雨樋（銅板）
		基礎	基壇石 柱礎石
		柱・梁	木製柱・梁 手摺・手摺子
		外壁	壁面（木製・漆喰壁） 胴蛇腹（垂鉛引鉄板） 軒下小壁（木製） 窓枠（木製）
	外観背面（西面）	屋根	瓦 瓦棒垂鉛引鉄板 雨樋（垂鉛鉄板）
		基礎	基壇石 柱礎石
		柱・梁	木製柱・梁 手摺・手摺子
		外壁	壁面（木製・漆喰壁） 胴蛇腹（垂鉛引鉄板） 軒下小壁（木製） 窓枠（木製）
	外観側面（南面）	屋根	瓦 瓦棒垂鉛引鉄板 雨樋（銅板）
		基礎	基壇石 柱礎石
		柱・梁	木製柱・梁 手摺・手摺子
		外壁	壁面（木製・漆喰壁） 胴蛇腹（垂鉛引鉄板） 軒下小壁（木製） 窓枠（木製）
	1階ベランダ	天井	天井板（木製）
		床	敷石
		外壁	壁面（木製・漆喰壁） 建具（木製ドア） 建具（木製ガラス戸） 建具（木製障戸） 1階窓枠（木製） 上部欄間（木製） ガラス

	1階中廊下	天井	天井板(木製) 照明
		床 内壁	カーペット敷 壁面(木製・漆喰壁) 建具(木製ドア) 窓枠(木製) ガラス 消火栓
	1階北側東室	天井	天井板(木製) 照明
		床 内壁	カーペット敷 東壁面(木製・漆喰壁) 西壁面(木製・漆喰壁) 南壁面(木製・漆喰壁) 北壁面(木製・漆喰壁) 建具(木製ドア) 建具(木製ガラス戸) 窓枠(木製) ガラス
	1階北側西室	天井	天井板(木製) 照明
		床 内壁	カーペット敷 畳敷 東壁面(木製・漆喰壁) 西壁面(木製・漆喰壁) 南壁面(木製・漆喰壁) 北壁面(木製・漆喰壁) 建具(木製ドア) 建具(木製ガラス戸) 窓枠(木製) ガラス
	1階南側東室	天井	天井板(木製) 照明
		床 内壁	カーペット敷 東壁面(木製・漆喰壁) 西壁面(木製・漆喰壁) 南壁面(木製・漆喰壁) 北壁面(木製・漆喰壁) 建具(木製ドア) 建具(木製ガラス戸) ガラス
	1階南側西室	天井	天井板(木製) 照明
		床 内壁	カーペット敷 東壁面(木製・漆喰壁) 西壁面(木製・漆喰壁) 南壁面(木製・漆喰壁) 北壁面(木製・漆喰壁) 建具(木製ドア) 建具(木製ガラス戸) 窓枠(木製) ガラス
	1・2階階段	天井	天井板(木製) 照明
		階段・床 内壁	カーペット敷 東壁面(木製・漆喰壁) 西壁面(木製・漆喰壁) 北壁面(木製・漆喰壁) 建具(木製ドア) 窓枠(木製) ガラス
		手摺	木製手摺

 ベランダ周り	2階ベランダ	天井	天井板(木製) 照明
		床 内壁	カーペット敷 壁面(木製・漆喰壁) 建具(木製ドア) 建具(木製ガラス戸) 上部欄間(木製) 2階外側窓枠(木製) アルミサッシ(内側) ガラス
 北東室	2階北側東室	天井	天井板(木製) 照明
		床 内壁	カーペット敷 東壁面(木製・漆喰壁) 西壁面(木製・漆喰壁) 南壁面(木製・漆喰壁) 北壁面(木製・漆喰壁) 建具(木製ドア) 窓枠(木製) ガラス
 北西室	2階北側西室	天井	天井板(木製) 照明
		床 内壁	カーペット敷 東壁面(木製・漆喰壁) 西壁面(木製・漆喰壁) 南壁面(木製・漆喰壁) 北壁面(木製・漆喰壁) 建具(木製ドア) 建具(木製ガラス戸) ガラス
 南室	2階南側室	天井	天井板(木製) 照明
		床 内壁	カーペット敷 東壁面(木製・漆喰壁) 西壁面(木製・漆喰壁) 南壁面(木製・漆喰壁) 北壁面(木製・漆喰壁) 建具(木製ドア) 建具(木製ガラス戸) ガラス
 廊下	2階中廊下	天井	天井板(木製) 照明
		床 内壁	カーペット敷 壁面(木製・漆喰壁) 建具(木製ドア) 上部欄間(木製) ガラス 消火栓
	外構	建物東側	植栽 放水銃 センサー 古井戸
		建物西側	植栽 通路・階段 管理用入口 放水銃 トイレ
		建物南側	センサー 旧給水塔
		建物北側	正門(来訪者入口) 案内所 管理人室 ポンプ室 水飲み場 植栽 解説板

調査台帳

構成資産(構成要素)名称	旧鹿児島紡績所技師館		
調査日時	平成28年12月15日(木) 10:00~13:00	天候	晴れ
調査者	鹿児島市教育委員会文化財課 森		

番号	調査項目(部位1)	調査結果			影響要因 (番号で記入)	特記事項
		部位2	指摘なし	経過観察	要是正 (箇所数)	
1	外観正面 (東面)					
(1)	屋根	✓				
(2)	基礎		✓		4	柱礎石のひび割れ
(3)	柱・梁		✓		4	塗装の剥離、退色
(4)	外壁		✓		4	塗装の剥離、退色
2	外観側面 (北面)					
(1)	屋根				2 箇所	4 雨樋い(2箇所)
(2)	基礎	✓				
(3)	柱・梁		✓		4	塗装の剥離、退色
(4)	外壁		✓		4	塗装の剥離、退色
3	外観背面 (西面)					
(1)	屋根				2 箇所	4 雨樋い(2箇所)
(2)	基礎	✓				
(3)	柱・梁		✓		4	塗装の剥離、退色
(4)	外壁		✓		4	塗装の剥離、退色
4	外観側面 (南面)					
(1)	屋根				2 箇所	4 雨樋い(2箇所)
(2)	基礎		✓		4	柱礎石のひび割れ
(3)	柱・梁		✓		4	塗装の剥離、退色
(4)	外壁		✓		4	塗装の剥離、退色
5	1階ベランダ					
(1)	天井	✓				
(2)	床		✓		4	石材間の隙間
(3)	外壁		✓		4	錠戸等のひび割れ、変形
6	1階中廊下					
(1)	天井	✓				
(2)	床	✓				
(3)	外壁	✓				
7	1階北側東室					
(1)	天井	✓				
(2)	床	✓				
(3)	内壁	✓				
8	1階北側西室					
(1)	天井	✓				
(2)	床	✓				
(3)	内壁	✓				
9	1階南側東室					
(1)	天井	✓				
(2)	床	✓				
(3)	内壁		✓		4	ガラスひび割れ
10	1階南側西室					
(1)	天井	✓				
(2)	床	✓				
(3)	内壁	✓				
11	1・2階階段					
(1)	天井	✓				
(2)	階段・床	✓				
(3)	内壁	✓				
(4)	手摺	✓				

1 2	2階ベランダ					
(1)	天井	✓				
(2)	床		✓		4	カーペット一部退色
(3)	内壁		✓		4	塗装の剥離、退色
1 3	2階北側東室					
(1)	天井	✓				
(2)	床	✓				
(3)	内壁		✓		4	ガラスひび割れ
1 4	2階北側西室					
(1)	天井	✓				
(2)	床	✓				
(3)	内壁	✓				
1 5	2階南側室					
(1)	天井		✓		4	換気孔にひび割れ
(2)	床	✓				
(3)	内壁	✓				
1 6	2階中廊下					
(1)	天井	✓				
(2)	床	✓				
(3)	内壁	✓				
1 7	外構					
(1)	建物東側	✓				
(2)	建物西側		✓		4	階段レンガ積の損傷・欠落
(3)	建物南側	✓				
(4)	建物北側	✓				

改善予定状況等

番号	改善策の具体的内容又は改善できない	改善(予定)年月

影響要因

環境変化	1:樹木等、2:昆虫、3:菌類、4:経年劣化
自然災害	5:火災、6:落雷、7:風水害、8:土砂災害、9:地震、10:津波、11:火山災害
観光圧力	12:来訪者等による人為的行為
その他	13:その他

個 票

(構成資産名: 旧集成館)

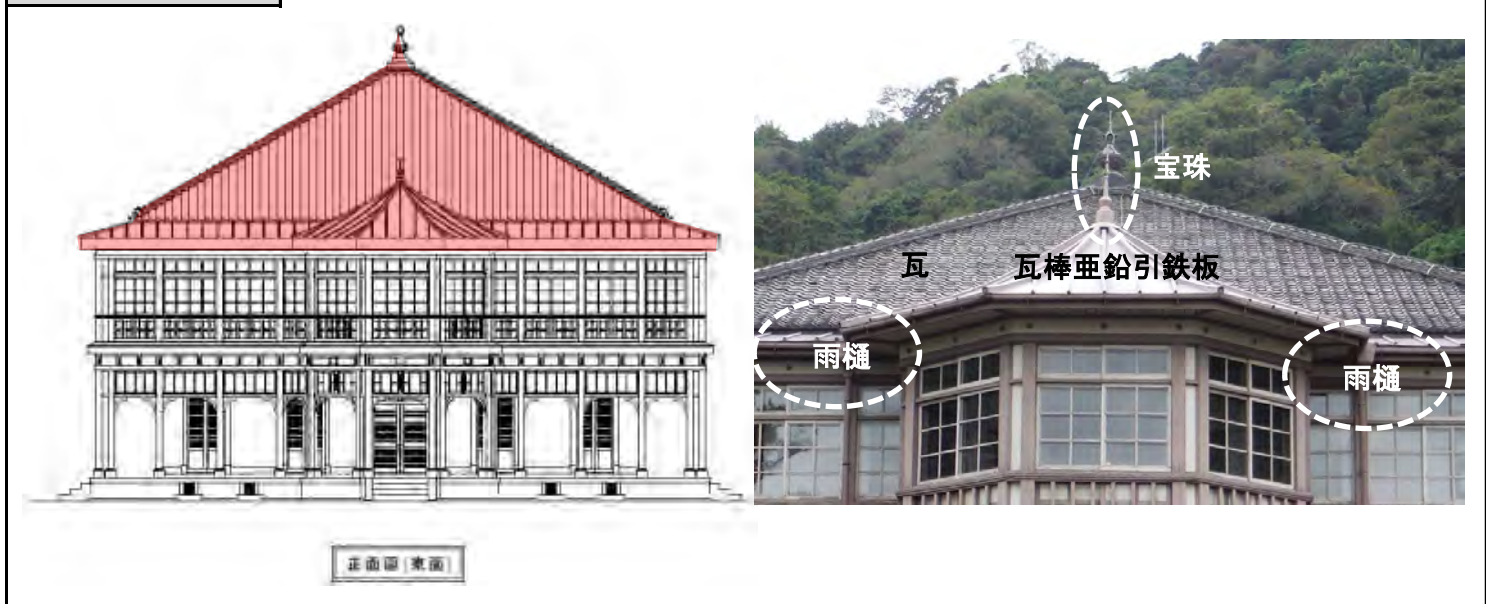
個票番号	
------	--

更新日	2016年12月15日
-----	-------------

構成要素(建造物)名	旧鹿児島紡績所技師館
------------	------------

階数	屋根	部位1	外観正面(東面)	部位2	屋根
部材	現状・摘要			留意点(特に継承を要する点等)	
瓦	良好			瓦の破損、欠落、ひび割れ等の確認	
瓦棒垂鉛引鉄板	良好			下地材の変形、乱れ、割れ、腐食等の確認	
雨樋(銅板)	良好			破損、脱落、支持金物等のぐらつきの確認	
屋根宝珠(瓦)	良好			瓦の破損、欠落、ひび割れ等の確認	

【図面・写真等】



劣化・損傷箇所			
記録年月日		損傷等の箇所(場所)	
位置図・写真			
特記事項 (対応方針)			
修理等の履歴	破損した雨樋2箇所の修繕(平成28年3月1日～31日)を実施した。		

個 票

(構成資産名: 旧集成館)

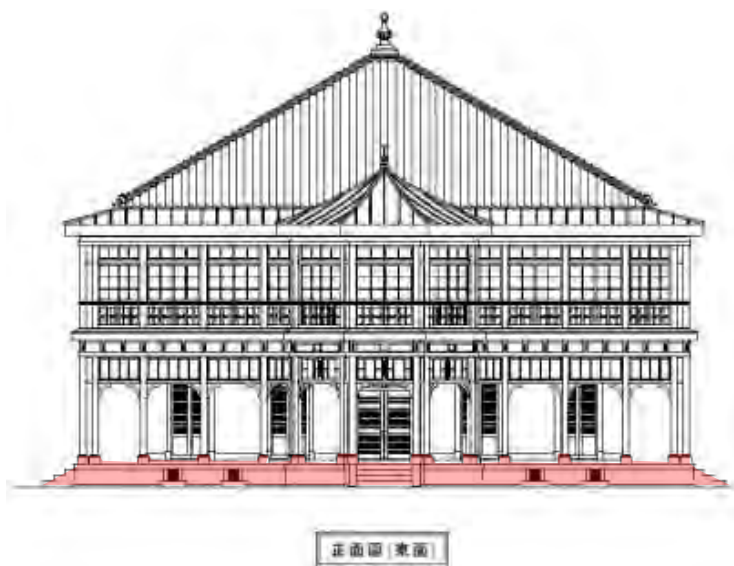
個票番号	
------	--

更新日	2016年12月15日
-----	-------------

構成要素(建造物)名	旧鹿児島紡績所技師館
------------	------------

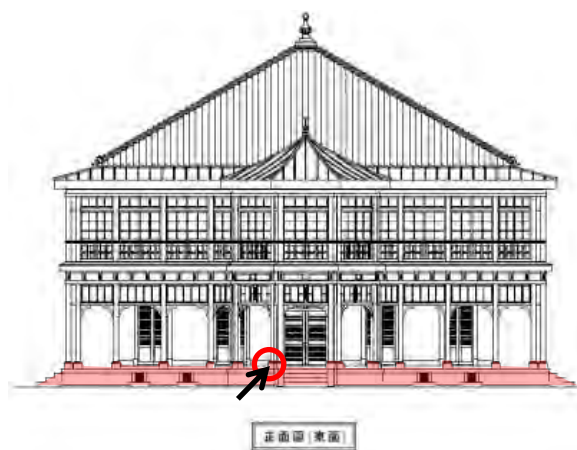
階数	1階	部位1	外観正面(東面)	部位2	基礎
部材	現状・摘要			留意点(特に継承を要する点等)	
基壇石	良好			石材のひび割れ、剥離、損傷等の確認	
柱礎石	石材のひび割れが1箇所あり			石材のひび割れ、剥離、損傷、蟻害の確認	

【図面・写真等】



劣化・損傷箇所			
記録年月日	2016年12月15日	損傷等の箇所(場所)	正面エントランス近くの柱礎石

位置図・写真



特記事項
(対応方針)

柱の礎石にひび割れが見られる。早急に修理する必要はないため、経過観察を行う。次回、修理工事等を実施する際は修繕を行う。

修理等の履歴

個 票

(構成資産名: 旧集成館)

個票番号

更新日

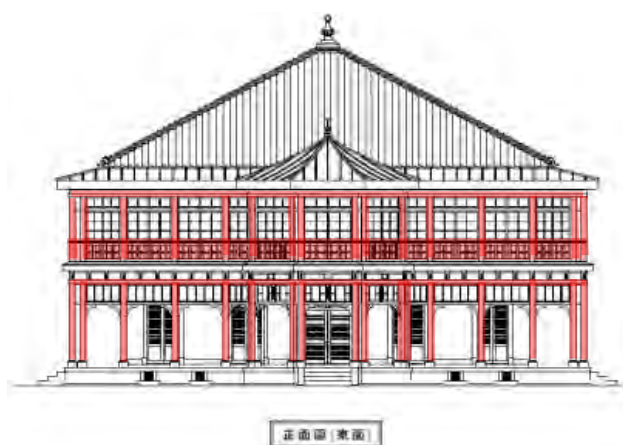
2016年12月15日

構成要素(建造物)名

旧鹿児島紡績所技師館

階数	1・2階	部位1	外観正面(東面)	部位2	柱・梁
部材	現状・摘要			留意点(特に継承を要する点等)	
木製柱・梁	全体的に退色、一部、塗装の剥離が見られる			塗装の剥離、ひび割れ、退色、腐朽、蟻害等の確認	
手摺・手摺子	全体的に退色、一部、塗装の剥離が見られる			塗装の剥離、ひび割れ、退色、腐朽等の確認	

【図面・写真等】



劣化・損傷箇所			
記録年月日	2016年12月15日	損傷等の箇所(場所)	2階の手摺部分
位置図・写真			
特記事項 (対応方針)	柱・梁・手摺・手摺子の塗装は、紫外線による劣化が進んでおり、退色が進むとともに、一部剥離が見られる。下地の木材への影響を経過観察しながら、適切な時期に塗装を行う。		
修理等の履歴			

個 票

(構成資産名: 旧集成館)

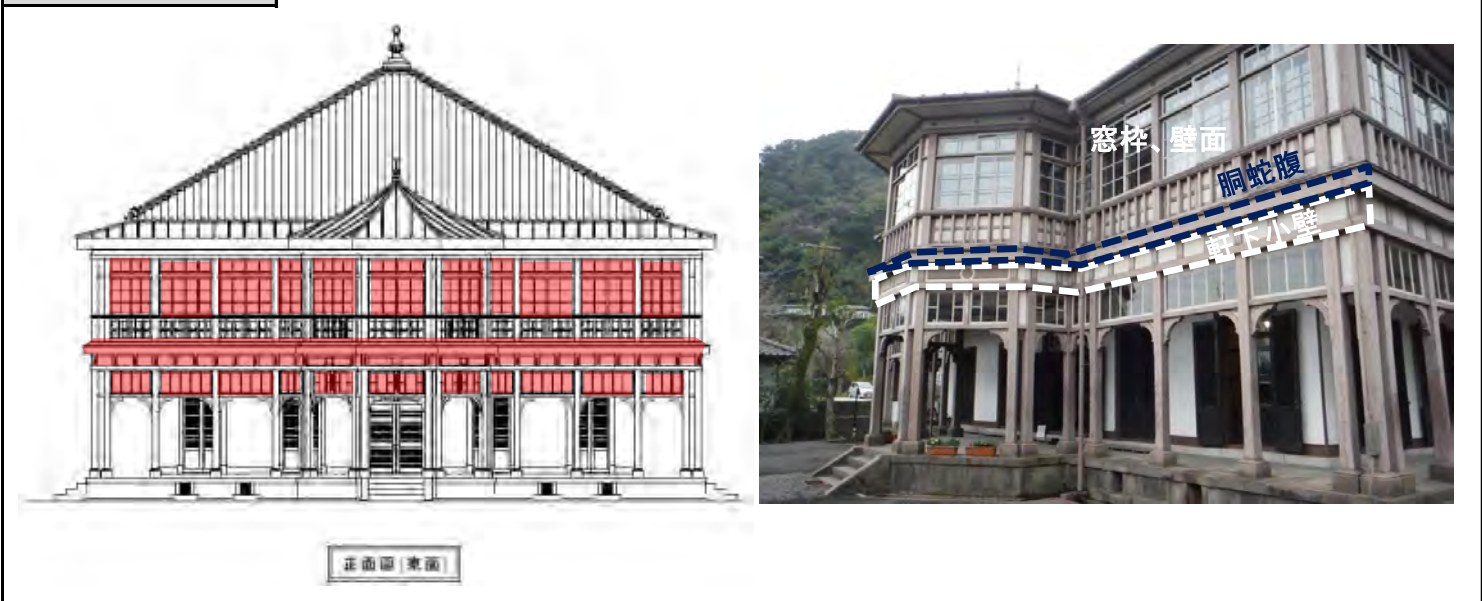
個票番号	
------	--

更新日	2016年12月15日
-----	-------------

構成要素(建造物)名	旧鹿児島紡績所技師館
------------	------------

階数	1・2階	部位1	外観正面(東面)	部位2	外壁
部材	現状・摘要			留意点(特に継承を要する点等)	
壁面(木製・漆喰壁)	良好			漆喰面の亀裂や剥落、退色、染み、汚れ等の確認	
胴蛇腹(亜鉛引鉄板)	良好			亀裂や破損、剥落、ひび割れ等の確認	
軒下小壁(木製)	良好			亀裂や破損、剥落、ひび割れ等の確認	
窓枠(木製)	全体的に退色、一部、塗装の剥離が見られる			亀裂や破損、剥落、ひび割れ等の確認	

【図面・写真等】



劣化・損傷箇所			
記録年月日	2016年12月15日	損傷等の箇所(場所)	窓枠(木製)
位置図・写真			
特記事項 (対応方針)	窓枠の塗装は、紫外線による劣化が進んでおり、退色が進むとともに、一部剥離が見られる。下地の木材への影響を経過観察しながら、適切な時期に塗装を行う。		
修理等の履歴			

個 票

(構成資産名: 旧集成館)

個票番号	
------	--

更新日	2016年12月15日
-----	-------------

構成要素(建造物)名	旧鹿児島紡績所技師館
------------	------------

階数	屋根	部位1	外観側面(北面)	部位2	屋根
部材	現状・摘要			留意点(特に継承を要する点等)	
瓦	良好			瓦の破損、欠落、ひび割れ等の確認	
瓦棒亜鉛引鉄板	良好			下地材の変形、乱れ、割れ、腐食等の確認	
雨樋(銅板)	雨樋が2箇所破損している。			破損、脱落、支持金物等のぐらつきの確認	

【図面・写真等】



側面図(北面)



劣化・損傷箇所			
記録年月日	2016年12月15日	損傷等の箇所(場所)	雨樋(2箇所)

位置図・写真	側面図(北面)	
--------	----------------	--

特記事項 (対応方針)	屋根の縁の部分が捲れあがって破損していることから、適切な時期に修繕を行う。
----------------	---------------------------------------

修理等の履歴	
--------	--

個 票

(構成資産名: 旧集成館)

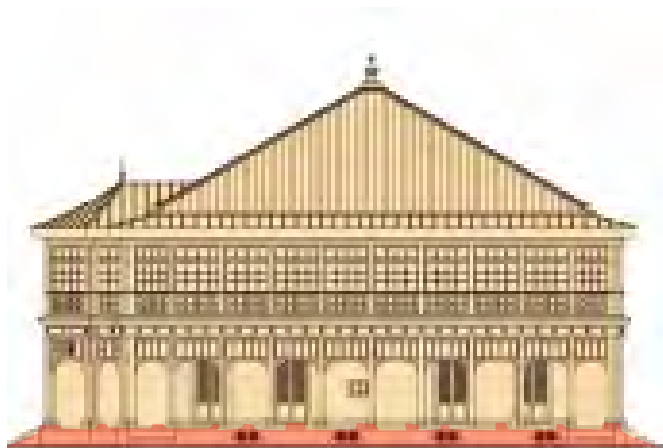
個票番号	
------	--

更新日	2016年12月15日
-----	-------------

構成要素(建造物)名	旧鹿児島紡績所技師館
------------	------------

階数	1階	部位1	外観側面(北面)	部位2	基礎
部材	現状・摘要			留意点(特に継承を要する点等)	
基壇石	良好			石材のひび割れ、剥離、損傷等の確認	
柱礎石	良好			石材のひび割れ、剥離、損傷、蟻害の確認	

【図面・写真等】



側面図(北面)



劣化・損傷箇所			
記録年月日		損傷等の箇所(場所)	
位置図・写真			
特記事項 (対応方針)			
修理等の履歴			

個 票

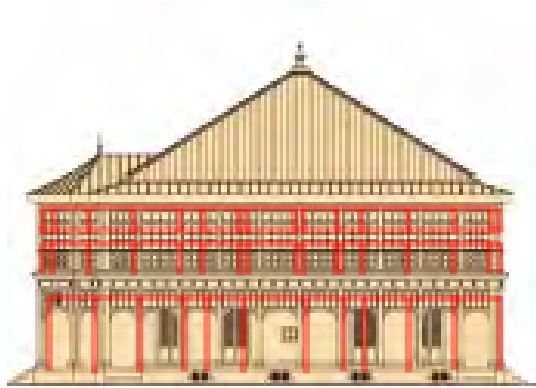
(構成資産名: 旧集成館)

個票番号	
------	--

更新日	2016年12月15日
-----	-------------

構成要素(建造物)名	旧鹿児島紡績所技師館
------------	------------

階数	1・2階	部位1	外観側面(北面)	部位2	柱・梁
部材	現状・摘要			留意点(特に継承を要する点等)	
木製柱・梁	全体的に退色、一部、塗装の剥離が見られる 柱1本に縦の亀裂が見られる			塗装の剥離、ひび割れ、退色、腐朽、蟻害等の確認	
手摺・手摺子	全体的に退色、一部、塗装の剥離が見られる			塗装の剥離、ひび割れ、退色、腐朽等の確認	
【図面・写真等】					



側面図(北面)



劣化・損傷箇所			
記録年月日	2016年12月15日	損傷等の箇所(場所)	1階柱部分

位置図・写真	 側面図(北面)			
--------	-------------	--	--	--

特記事項 (対応方針)	柱・梁・手摺・手摺子の塗装は、紫外線による劣化が進んでおり、退色が進むとともに、一部剥離が見られる。下地の木材への影響を経過観察しながら、適切な時期に塗装を行う。 また、柱にひび割れが見られる。早急に修理する必要があると思われるが、経過観察を行い、状況に応じて適宜修繕を行う。		
----------------	---	--	--

修理等の履歴			
--------	--	--	--

個 票

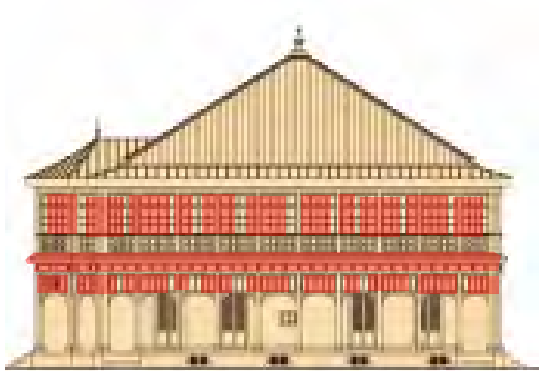
(構成資産名: 旧集成館)

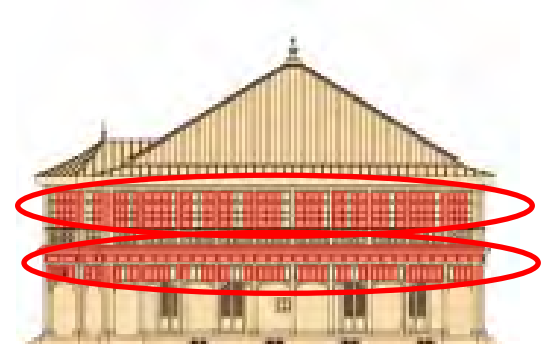
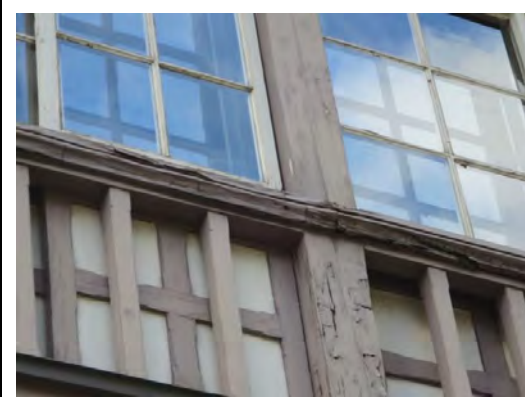
個票番号	
------	--

更新日	2016年12月15日
-----	-------------

構成要素(建造物)名	旧鹿児島紡績所技師館
------------	------------

階数	1・2階	部位1	外観側面(北面)	部位2	外壁
部材	現状・摘要			留意点(特に継承を要する点等)	
壁面(木製・漆喰壁)	良好			漆喰面の亀裂や剥落、退色、染み、汚れ等の確認	
胴蛇腹(亜鉛引鉄板)	良好			亀裂や破損、剥落、ひび割れ等の確認	
軒下小壁(木製)	良好			亀裂や破損、剥落、ひび割れ等の確認	
窓枠(木製)	全体的に退色、一部、塗装の剥離が見られる			亀裂や破損、剥落、ひび割れ等の確認	

【図面・写真等】	  側面図(北面)				
----------	---	--	--	--	--

劣化・損傷箇所			
記録年月日	2016年12月15日	損傷等の箇所(場所)	窓枠(木製)
位置図・写真	  側面図(北面)		
特記事項 (対応方針)	窓枠の塗装は、紫外線による劣化が進んでおり、退色が進むとともに、一部剥離が見られる。下地の木材への影響を経過観察しながら、適切な時期に塗装を行う。		
修理等の履歴			

個 票

(構成資産名: 旧集成館)

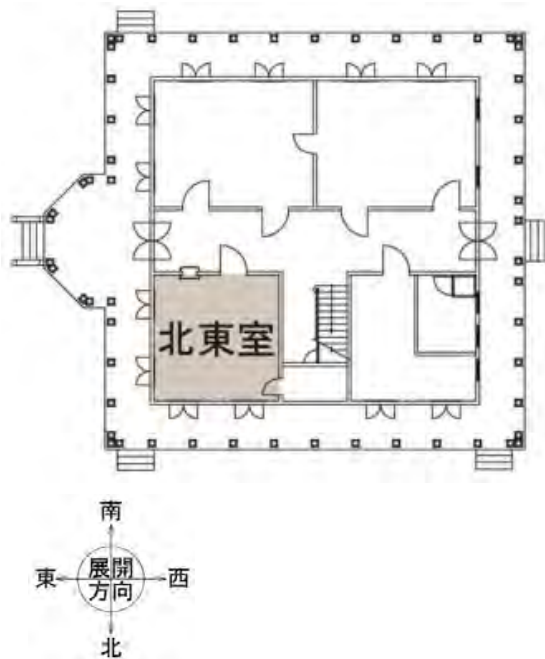
個票番号	
------	--

更新日	2016年12月15日
-----	-------------

構成要素(建造物)名	旧鹿児島紡績所技師館
------------	------------

階数	1階	部位1	1階北側東室	部位2	天井
部材	現状・摘要			留意点(特に継承を要する点等)	
天井板(木製)	良好			亀裂や剥落、退色、染み、汚れ、隙間等の確認	
照明	良好			照明器具、懸垂物等の劣化及び損傷の確認	

【図面・写真等】



劣化・損傷箇所			
記録年月日		損傷等の箇所(場所)	
位置図・写真			
特記事項 (対応方針)			
修理等の履歴			

個 票

(構成資産名: 旧集成館)

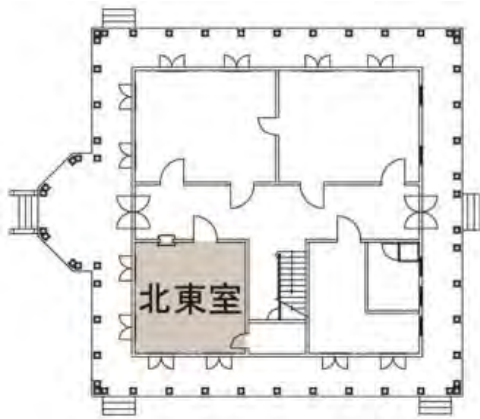
個票番号	
------	--

更新日	2016年12月15日
-----	-------------

構成要素(建造物)名	旧鹿児島紡績所技師館
------------	------------

階数	1階	部位1	1階北側東室	部位2	床
部材	現状・摘要			留意点(特に継承を要する点等)	
カーペット敷	良好			傷、摩耗、退色、染み、汚れ等の確認	

【図面・写真等】



劣化・損傷箇所			
記録年月日		損傷等の箇所(場所)	
位置図・写真			
特記事項 (対応方針)			
修理等の履歴			

個 票

(構成資産名: 旧集成館)

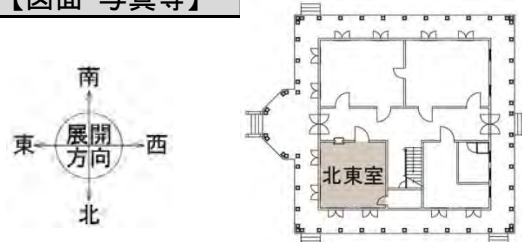
個票番号	
------	--

更新日	2016年12月15日
-----	-------------

構成要素(建造物)名	旧鹿児島紡績所技師館
------------	------------

階数	1階	部位1	1階北側東室	部位2	内壁
部材	現状・摘要			留意点(特に継承を要する点等)	
壁面(東)	良好			亀裂や損傷、剥落、退色、染み、汚れ等の確認	
壁面(西)	良好			亀裂や損傷、剥落、退色、染み、汚れ等の確認	
壁面(南)	良好			亀裂や損傷、剥落、退色、染み、汚れ等の確認	
壁面(北)	良好			亀裂や損傷、剥落、退色、染み、汚れ等の確認	
建具(木製ドア)	良好			塗装の状態、亀裂、ひび割れ、破損等の確認	
建具(ガラス戸)	良好			塗装の状態、亀裂、ひび割れ、破損等の確認	
ガラス	良好			ひび割れ、破損等の確認	

【図面・写真等】



劣化・損傷箇所			
記録年月日		損傷等の箇所(場所)	
位置図・写真			
特記事項 (対応方針)			
修理等の履歴			

票 個

(構成資産名: 旧集成館)

個票番号

更新日

2016年12月15日

構成要素(建造物)名

旧鹿児島紡績所技師館

階数	1階	部位1	外構	部位2	建物東側
部材	現状・摘要			留意点(特に継承を要する点等)	
植栽	良好			枝の剪定、病害虫の有無等	
放水銃	良好			取付金具の状態、破損等	
センサー	良好			取付金具の状態、破損等	
古井戸	良好			石材のひび割れ、剥離、損傷等による劣化	

【**図面・写真等**】



劣化・損傷箇所			
記録年月日		損傷等の箇所(場所)	
位置図・写真			
特記事項 (対応方針)			
修理等の履歴			

個 票

(構成資産名: 旧集成館)

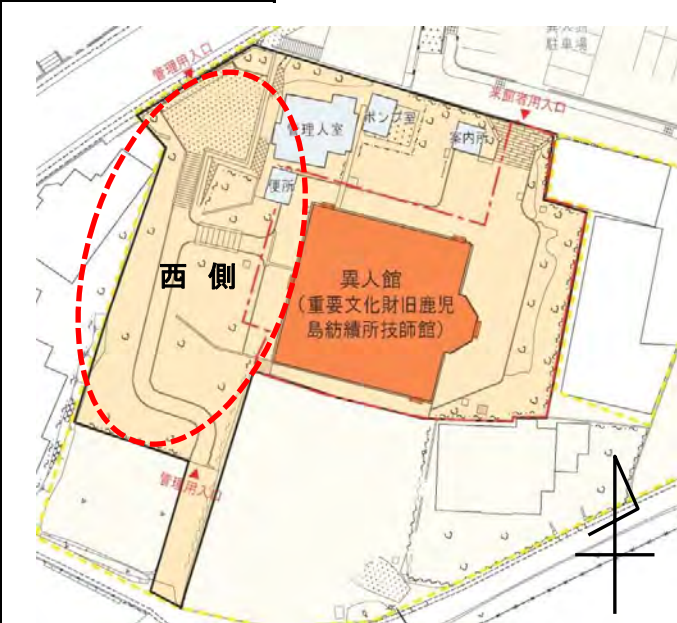
個票番号	
------	--

更新日	2016年12月15日
-----	-------------

構成要素(建造物)名	旧鹿児島紡績所技師館
------------	------------

階数	1階	部位1	外構	部位2	建物西側
部材	現状・摘要			留意点(特に継承を要する点等)	
植栽	良好			枝の剪定、病害虫の有無等	
通路・階段	レンガ積の損傷・欠落(2箇所)			不陸や傾斜、ひび割れ、損傷等の有無	
管理用入口	良好			不陸や傾斜、ひび割れ、損傷等の有無	
放水銃	良好			取付金具の状態、破損等	
トイレ	良好			亀裂や破損、剥落、ひび割れ等	

【図面・写真等】



劣化・損傷箇所			
記録年月日	2016年12月15日	損傷等の箇所(場所)	階段・レンガ積
位置図・写真			
特記事項 (対応方針)	階段のレンガ積が2箇所損傷、欠落している。早急に補修する必要はないが、経過観察を行い、状況に応じて、次回、補修工事等を行う際に修理する。		
修理等の履歴			

個 票

(構成資産名: 旧集成館)

個票番号	
------	--

更新日	2016年12月15日
-----	-------------

構成要素(建造物)名	旧鹿児島紡績所技師館
------------	------------

階数	1階	部位1	外構	部位2	建物南側
部材	現状・摘要			留意点(特に継承を要する点等)	
センサー	良好			取付金具の状態、破損等	
旧給水塔	良好			石材のひび割れ、剥離、損傷等による劣化	

【図面・写真等】







劣化・損傷箇所			
記録年月日		損傷等の箇所(場所)	
位置図・写真			
特記事項 (対応方針)			
修理等の履歴			

個 票

(構成資産名: 旧集成館)

個票番号	
------	--

更新日	2016年12月15日
-----	-------------

構成要素(建造物)名	旧鹿児島紡績所技師館
------------	------------

階数	1階	部位1	外構	部位2	建物北側
部材	現状・摘要			留意点(特に継承を要する点等)	
正門(来訪者入口)	良好			不陸や傾斜、ひび割れ、損傷等の有無	
案内所	良好			亀裂や破損、剥落、ひび割れ等	
管理人室	良好			亀裂や破損、剥落、ひび割れ等	
ポンプ室	良好			亀裂や破損、剥落、ひび割れ等	
水飲み場	良好			亀裂や破損、剥落、ひび割れ等	
植栽	良好			枝の剪定、病害虫の有無等	
解説板	良好			亀裂や破損、剥落、ひび割れ等	

【図面・写真等】



劣化・損傷箇所			
記録年月日		損傷等の箇所(場所)	
位置図・写真			
特記事項 (対応方針)			
修理等の履歴			

「構成資産」,「構成要素」,「部位」の関係(寺山炭窯跡)

▶1

構成資産	構成要素	部位1	部位2
寺山炭窯跡	炭窯跡	石積	正面右側 正面左側 内部入口右側 正面入口左側 内部背面
		前庭部	地表面
	炭窯の碑	石碑	正面 右側面 左側面 裏面
▶3	景観	視点場1	景観1-1 景観1-2
		視点場2	景観2-1 景観2-2
		視点場3	景観3
		視点場4	景観4
		視点場5	景観5-1 景観5-2
		視点場6	景観6
		視点場7	景観7
		視点場8	景観8

調査台帳

A2鹿児島エリア

構成資産	2 寺山炭窯跡
------	---------

調査日時	平成29年2月15日（水）	天候	晴れ
調査者	鹿児島市教育委員会文化財課 松下		

個票番号	調査項目		調査結果			影響要因 (番号で記入)	特記事項
	部位 1	部位 2	指摘なし	経過観察	要是正（箇所数）		
1	炭窯跡						
(1)	石積	正面右側		✓			緩み、孕み
(2)		正面左側		✓			緩み、孕み
(3)		内部入口右側		✓			緩み、孕み
(4)		内部入口左側		✓			緩み、孕み
(5)		内部背面	✓				緩み、孕み
(6)	前庭部	地表面	✓				
2	炭窯の碑						
(1)	石碑	正面	✓				
(2)		右側面	✓				
(3)		左側面	✓				
(4)		裏面	✓				
3	景観						
(1)	視点場1	景観1-1	✓				
(2)		景観1-2	✓				
(3)	視点場2	景観2-1	✓				
(4)		景観2-2	✓				
(5)	視点場3	景観3	✓				
(6)	視点場4	景観4	✓				
(7)	視点場5	景観5-1	✓				
(8)		景観5-2	✓				
(9)	視点場6	景観6	✓				
(10)	視点場7	景観7	✓				
(11)	視点場8	景観8	✓				

改善予定状況等

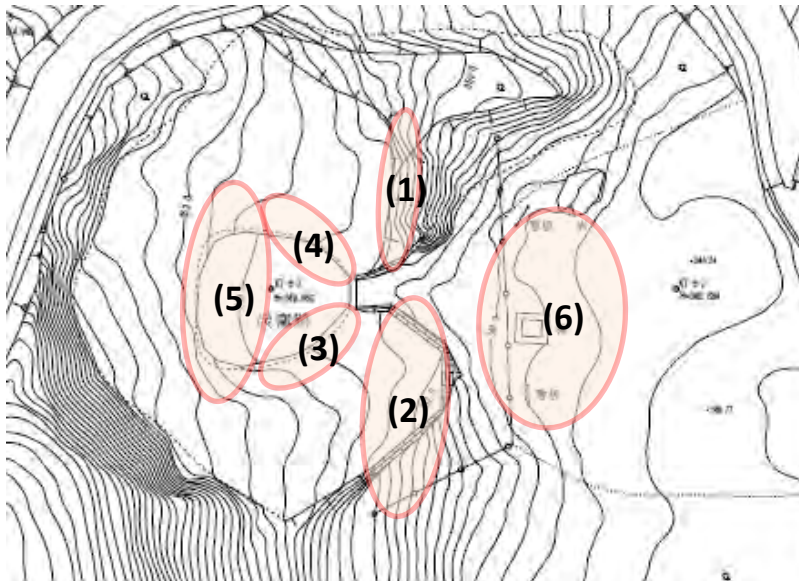
番号	改善策の具体的内容又は改善できない理	改善（予定）年月

影響要因

環境変化	1：樹木等、2：昆虫、3：菌類、4：経年劣化
自然災害	5：火災、6：落雷、7：風水害、8：土砂災害、9：地震、10：津波、11：火山災害
観光圧力	12：来訪者等による人為的行為
その他	13：その他

構成資産	構成要素	更新日
寺山炭窯跡	炭窯跡	2017年2月15日

調査項目		現状・摘要	留意点（特に継承を要する点等）
部位 1	部位 2		
石積	正面右側	緩み、孕み、目地の開き	石積の緩み、孕み、目地の開き、樹木の生育等
	正面左側	緩み、孕み、目地の開き	石積の緩み、孕み、目地の開き、樹木の生育等
	内部入口右側	緩み、孕み、目地の開き	石積の緩み、孕み、目地の開き、樹木の生育等
	内部入口左側	緩み、孕み、目地の開き	石積の緩み、孕み、目地の開き、樹木の生育等
	内部背面	良好	石積の緩み、孕み、目地の開き、樹木の生育等
前庭部	地表面	良好	地表面の状況
【図面・写真等】			



対象部位

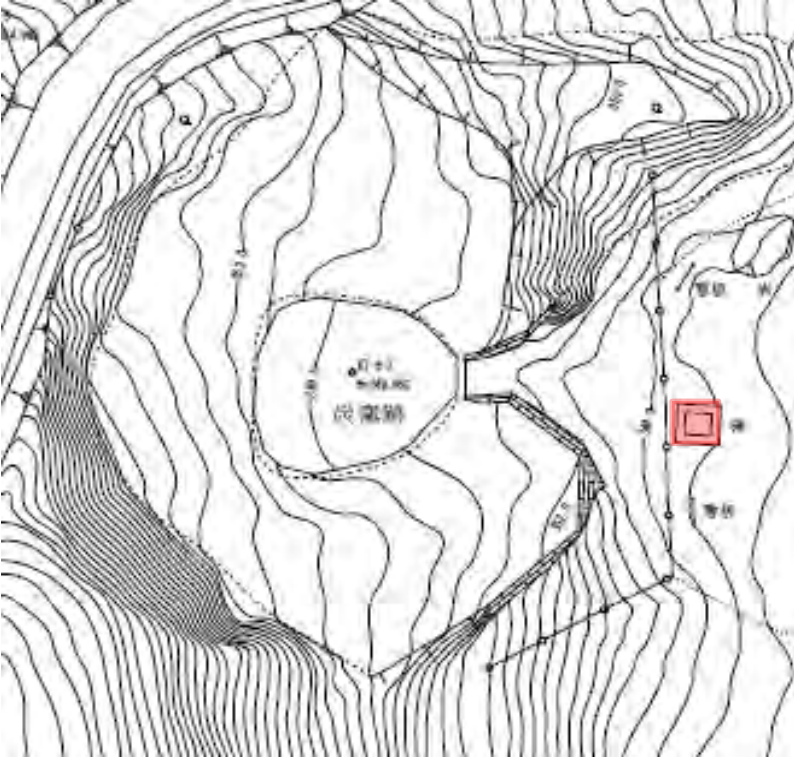


劣化・損傷箇所

部位	(1) 正面左側		
記録年月日	損傷等の箇所（場所）	入口付近の緩み、目地の開き、全体的な孕みがみられる。	
位置図・写真			
特記事項 （対応方針）	平成27年度から動態観測を実施している。複数年の記録を分析したうえで、修復の検討を行う。		
修理等の履歴			

個 票

構成資産	構成要素	更新日
寺山炭窯跡	炭窯跡	2017年2月15日

調査項目		現状・摘要	留意点（特に継承を要する点等）
部材 1	部材 2		
石碑	正面	良好	文字の判読に支障をきたす表面風化
	右側面	良好	文字の判読に支障をきたす表面風化
	左側面	良好	文字の判読に支障をきたす表面風化
	裏面	良好	文字の判読に支障をきたす表面風化
【図面・写真等】			
 対象部位		 (1)正面  (2)側面(右側)  (3)側面(左側)  (4)裏面	

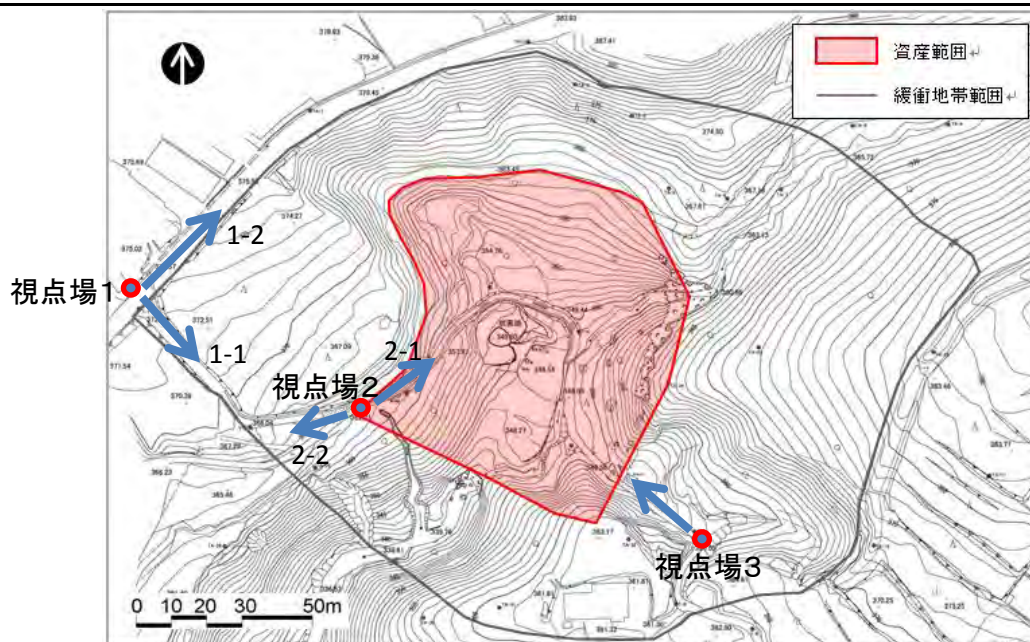
劣化・損傷箇所

部位	(1) 正面、(2) 右側面、(3) 左側面		
記録年月日	損傷等の箇所（場所）	特になし。	
位置図・写真	(1) 正面  (2) 側面 右  (3) 側面 左 		
特記事項（対応方針）	現時点で劣化・損傷はないが、文字の判読に支障をきたす表面風化がないか留意する。		
修理等の履歴			

A2鹿児島エリア

構成資産	2 寺山炭窯跡	NO.1		
構成要素	3 景観	視点場	視点場1～3	記録年月日 平成29年2月15日
保全すべき価値		炭窯周辺の植生、地形、自然環境		

視点場の位置と概要



現況



写真(景観1-1)



写真(景観1-2)



写真(景観2-1)

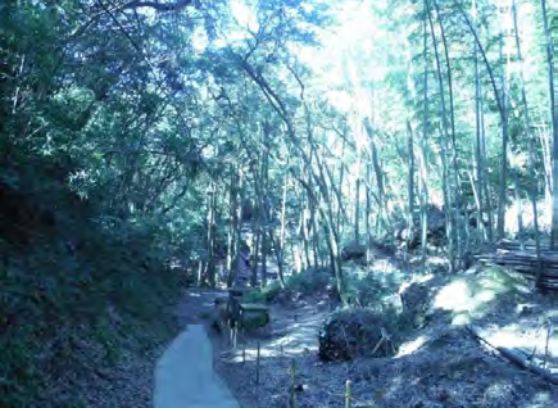


写真(景観2-2)

個 票

A2鹿児島エリア

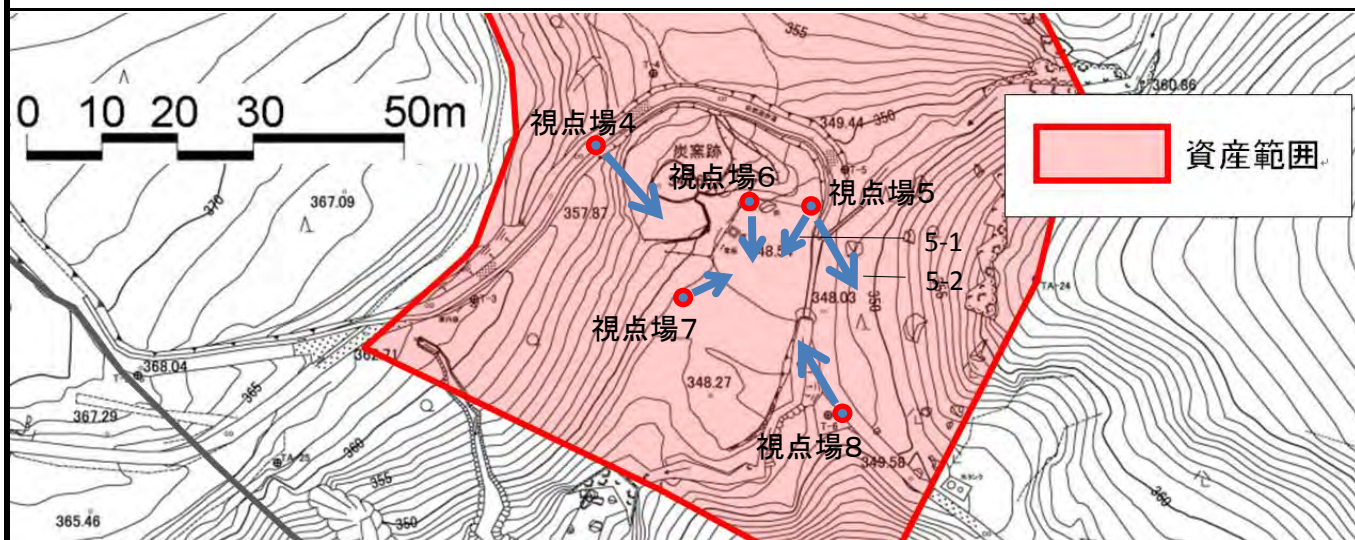
構成資産	2 寺山炭窯跡	NO.2		
構成要素	3 景観	視点場	視点場1～3	記録年月日
				平成29年2月15日
保全すべき価値	炭窯周辺の植生、地形、自然環境			

視点場の位置と概要	
 写真(景観3)	
景観の変化	
特になし。	
誘導・修景等の対応	
—	

A2鹿児島エリア

構成資産	2 寺山炭窯跡	NO.3		
構成要素	3 景観	視点場	視点場4～8	記録年月日 平成29年2月15日
保全すべき価値		炭窯周辺の植生、地形、自然環境		

視点場の位置と概要



現況



写真(景観4)



写真(景観5-1)



写真(景観5-2)



写真(景観6)

個 票

A2鹿児島エリア

構成資産	2 寺山炭窯跡		NO.4	
構成要素	3 景観	視点場	視点場4～8	記録年月日
				平成29年2月15日
保全すべき価値		炭窯周辺の植生、地形、自然環境		

視点場の位置と概要



写真(景観7)



写真(景観8)

景観の変化

特になし。

誘導・修景等の対応

—

「構成資産」、「構成要素」、「部位」の関係(関吉の疎水溝)

▶1

構成資産	構成要素	部位 1	部位 2
関吉の疎水溝	取水口(元禄期)の遺構	取水堰	遺構A 遺構B 遺構C 遺構D 遺構E
		ダム	石垣F 石垣G
▶2	水天碑	本体	正面 左側面 右側面
		基盤	地表面
▶3	景観	視点場 1	景観1-1
		視点場2	景観2-1 景観2-2
		視点場3	景観3-1 景観3-2 景観3-3 景観3-4 景観3-5
		視点場4	景観4-1

調査台帳

構成資産(構成要素)名称		関吉の疎水溝	
調査日時	平成29年2月15日(水)	天候	晴れ
調査者	鹿児島市教育委員会文化財課 松下		

番号	調 査 項 目		調査結果			影響要因 (番号で記入)	特記事項
			指摘なし	経過観察	要是正		
1	取水口の遺構						
(1)	取水堰	遺構A	✓				
		遺構B	✓				
		遺構C	✓				
		遺構D	✓				
		遺構E	✓				
(2)	ダム	石垣F	✓				
		石垣G		✓			石垣下部に洗掘あり
2	水天碑						
(1)	本体	正面	✓				
		左側面	✓				
		右側面	✓				
	基盤	地表面	✓				
3	景観						
(1)	視点場1	景観1-1	✓				
(2)	視点場2	景観2-1	✓				
		景観2-2	✓				
(3)	視点場3	景観3-1	✓				
		景観3-2	✓				
		景観3-3	✓				
		景観3-4	✓				
		景観3-5	✓				
(4)	視点場4	景観4-1	✓				

改善予定状況等

番号	改善策の具体的内容又は改善できない理由	改善(予定)年月

影響要因

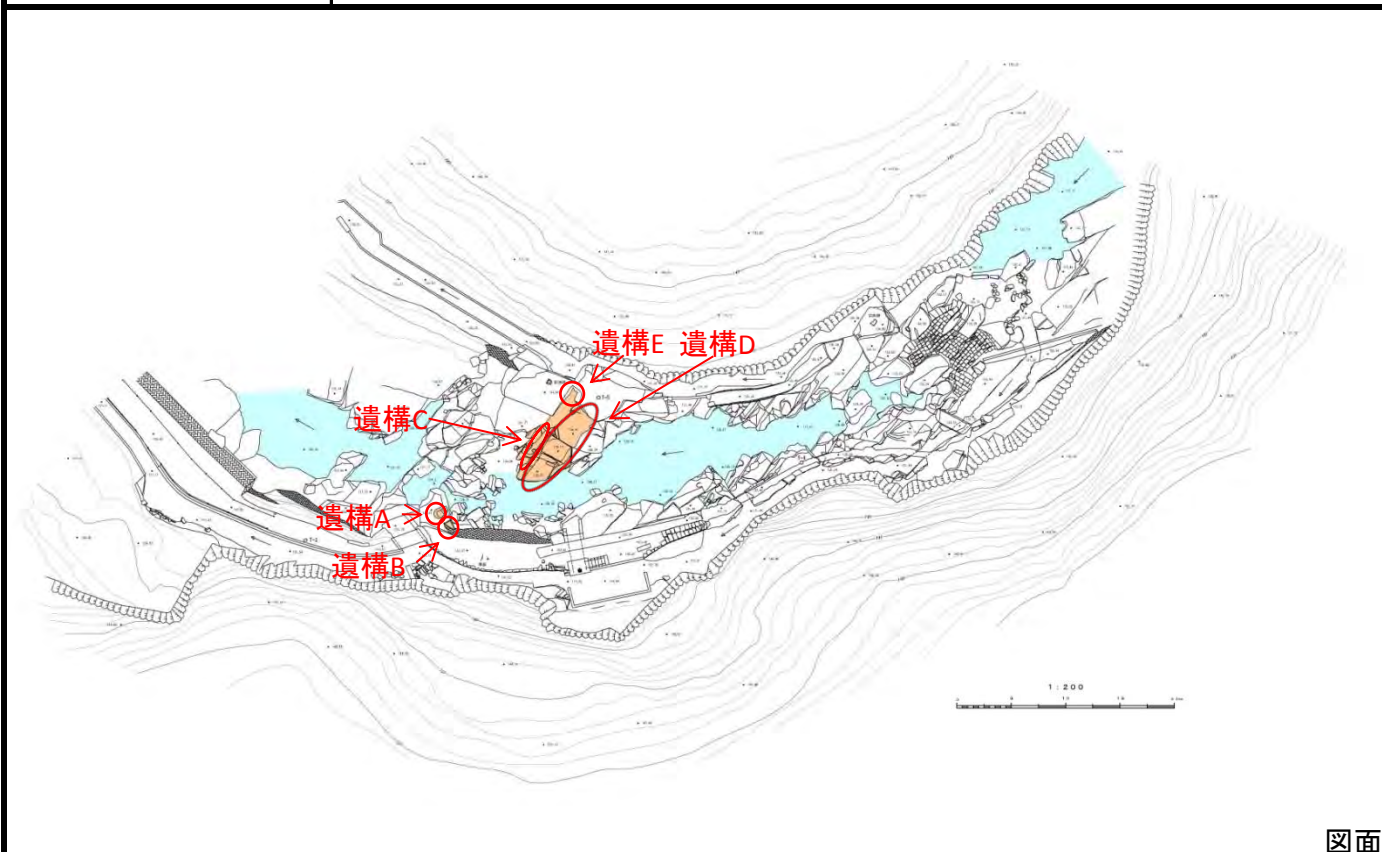
環境変化	1：樹木等、2：昆虫、3：菌類、4：経年劣化
自然災害	5：火災、6：落雷、7：風水害、8：土砂災害、9：地震、10：津波、11：火山災害
観光圧力	12：来訪者等による人為的行為
その他	13：その他

個 票 (構成資産名: 関吉の疎水溝)

N0.1

構成要素	取水口の遺構	部位1	取水堰	記録年月日
				平成29年2月15日

部位2	現状・摘要	留意点(特に継承を要する点等)
遺構A	良好	風化、劣化、損傷等
遺構B	良好	風化、劣化、損傷等
遺構C	良好	風化、劣化、損傷等
遺構D	良好	風化、劣化、損傷等
遺構E	良好	風化、劣化、損傷等
修理等履歴	修理等の概要	



図面



写真(遺構A)



写真(遺構B)

個 票

(構成資産名：関吉の疎水溝)

N0.2

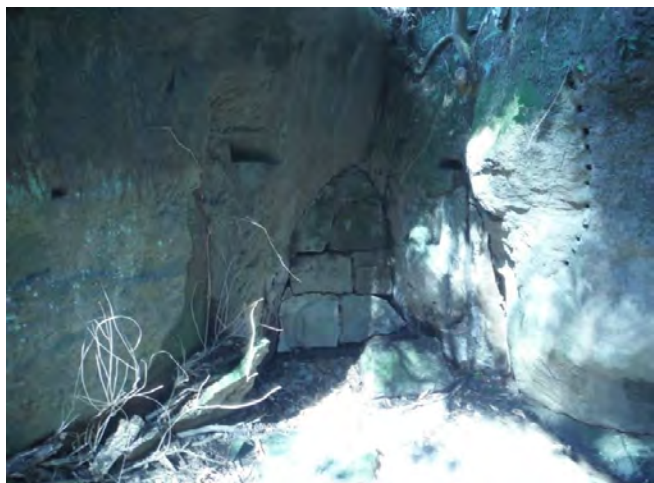
構成要素	取水口(元禄期)の遺構	部位1	取水堰	記録年月日
				平成28年 月 日



写真(遺構C)



写真(遺構D)



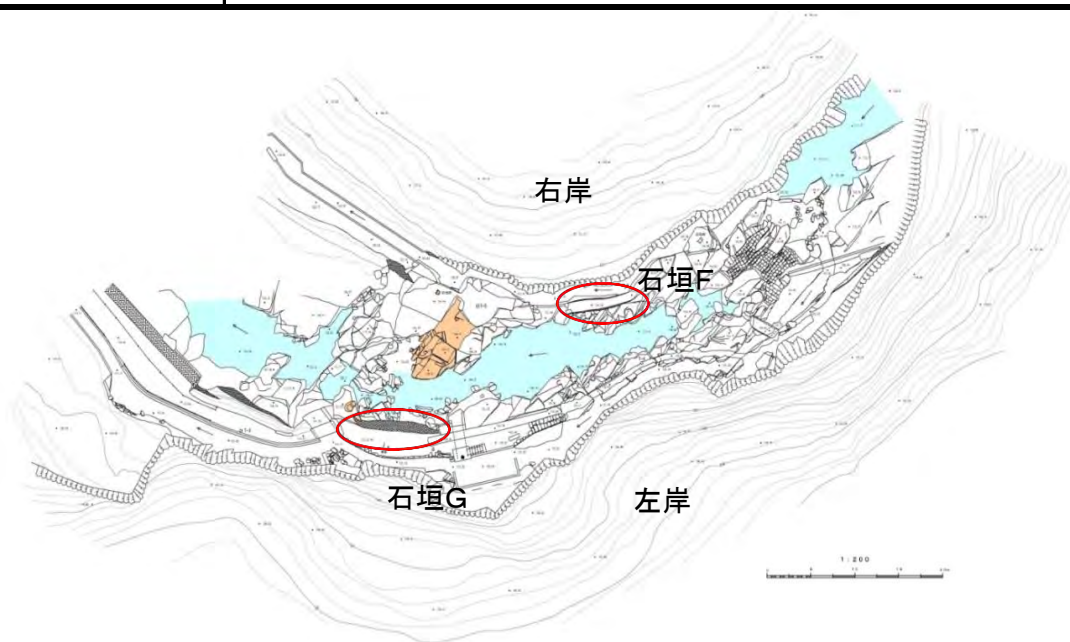
写真(遺構E)

個 票 (構成資産名: 関吉の疎水溝)

N0.3

構成要素	取水口(元禄期)の遺構	部位1	ダム	記録年月日
				平成29年2月15日

部位2	現状・摘要	留意点(特に継承を要する点等)
石垣F	良好	風化、劣化、損傷等
石垣G	石垣下部に洗掘あり	風化、劣化、損傷等
修理等履歴	修理等の概要	



写真(石垣F)



写真(石垣G)

個 票 (構成資産名: 関吉の疎水溝)

N0.4

構成要素	取水口(元禄期)の遺構	部位1	ダム	記録年月日
				平成29年2月15日



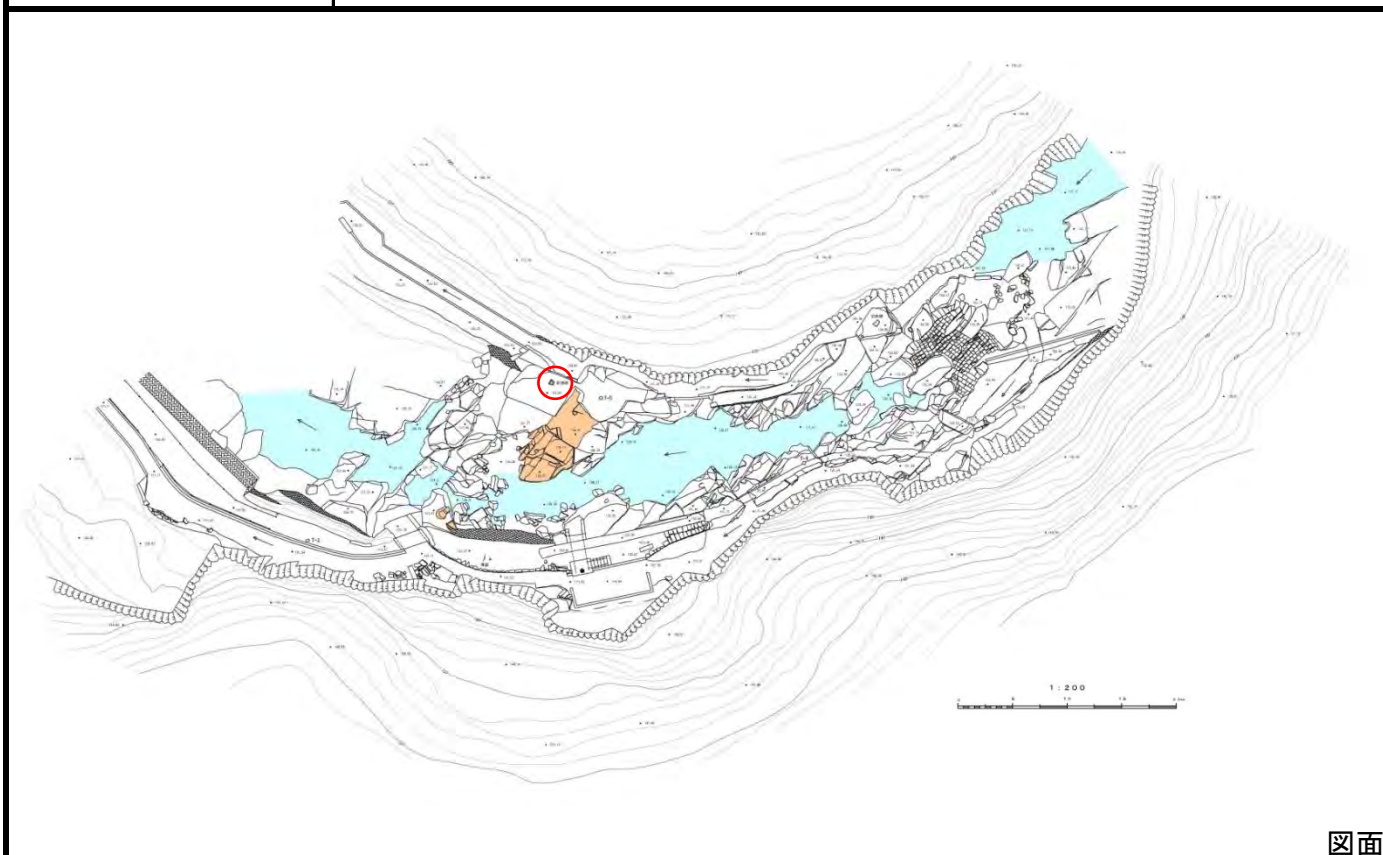
写真(石垣Gの下部アップ)

個 票 (構成資産名: 関吉の疎水溝)

N0.1

構成要素	水天碑	部位1	本体	記録年月日
				平成29年2月15日

部位2	現状・摘要	留意点(特に継承を要する点等)
正面	良好	風化、劣化、損傷等
左側面	良好	風化、劣化、損傷等
右側面	良好	風化、劣化、損傷等
修理等履歴	修理等の概要	



図面



写真(正面)



写真(左側面)

個 票

(構成資産名：関吉の疎水溝)

N0.2

構成要素	水天碑	部位1	本体	記録年月日
				平成29年2月15日



写真(右側面)

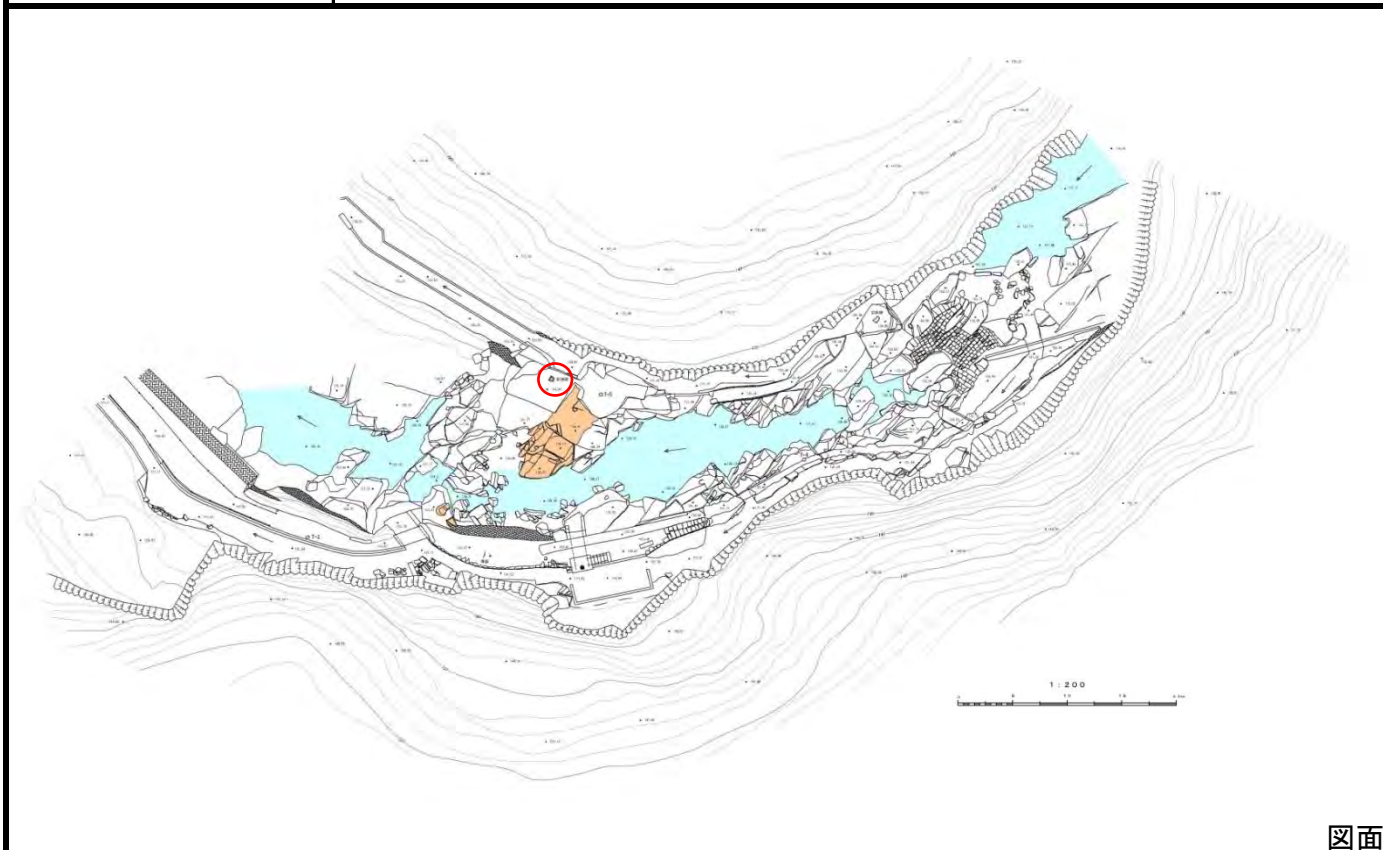
個 票

(構成資産名：関吉の疎水溝)

N0.2

構成要素	水天碑	部位1	基盤	記録年月日
				平成29年2月15日

部位2	現状・摘要	留意点(特に継承を要する点等)
地表面	良好	土壌の流出等
修理等履歴	修理等の概要	



図面



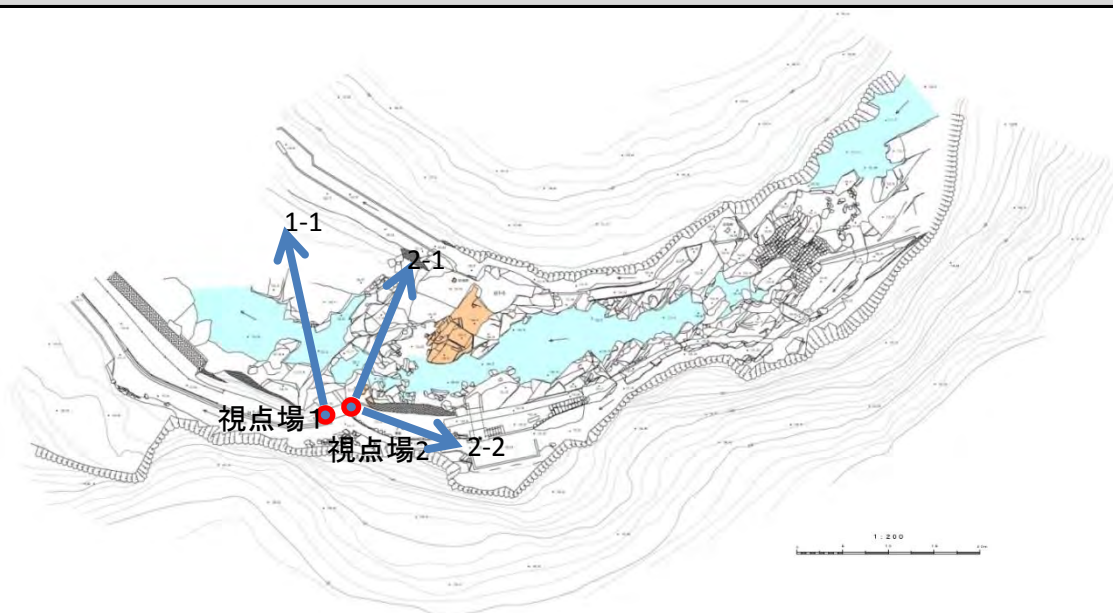
写真(地表面)

個 票 (構成資産名: 関吉の疎水溝)

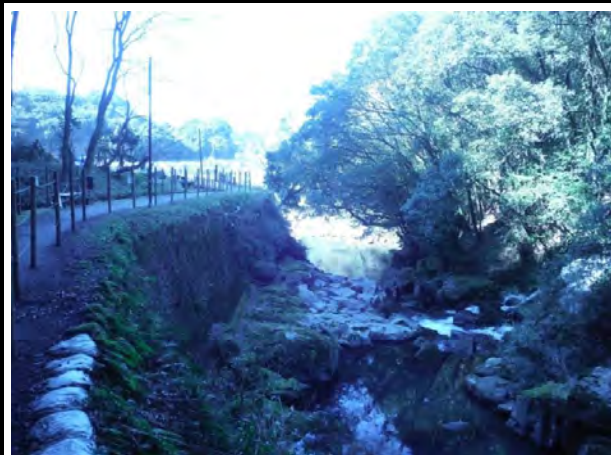
N0.1

構成要素	景観	記録年月日
		平成29年2月15日
保全すべき価値		

眺望地点の位置と概要



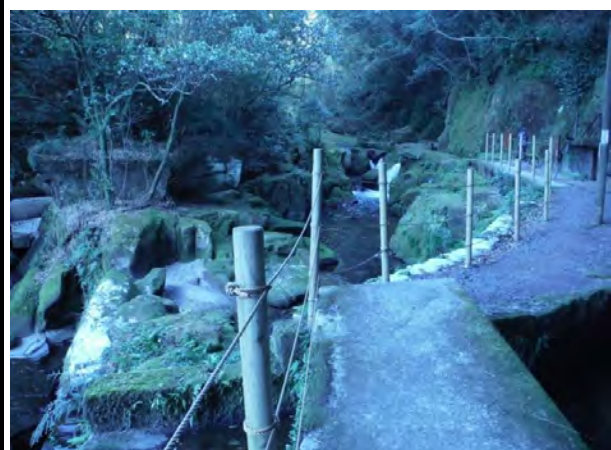
現況



写真(景観1-1)



写真(景観2-1)



写真(景観2-2)

展望景観の変化

特になし。

誘導・修景等の対応

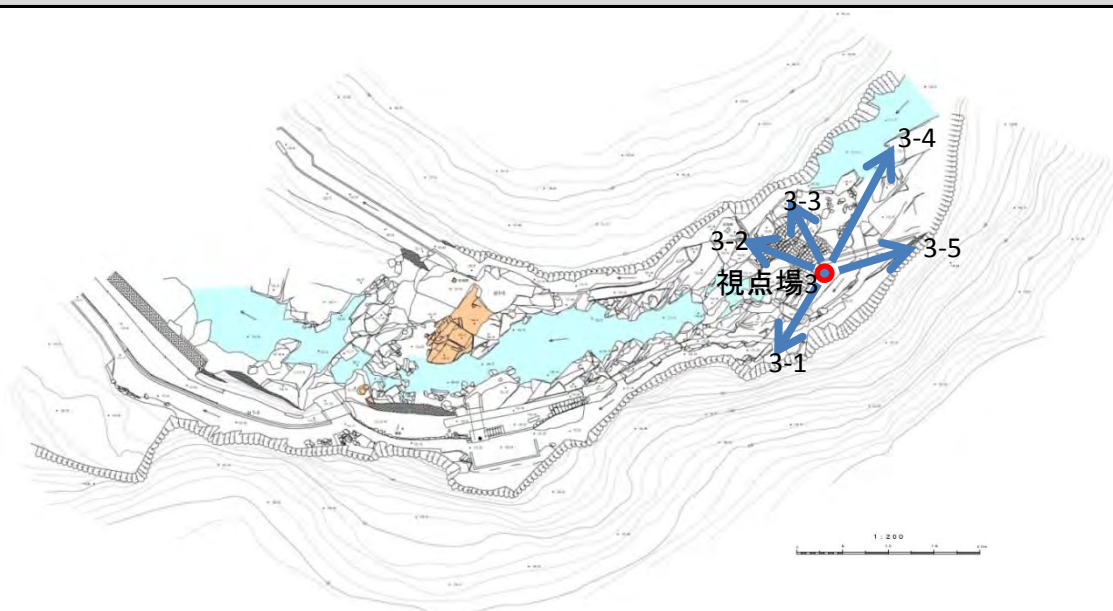
—

個 票 (構成資産名: 関吉の疎水溝)

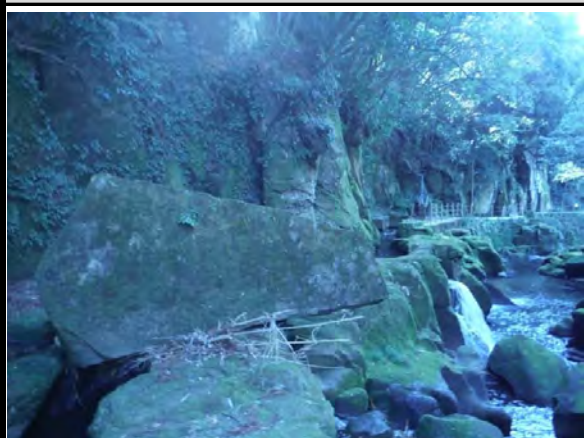
N0.2

構成要素	景観	記録年月日
		平成29年2月15日
保全すべき価値		

眺望地点の位置と概要



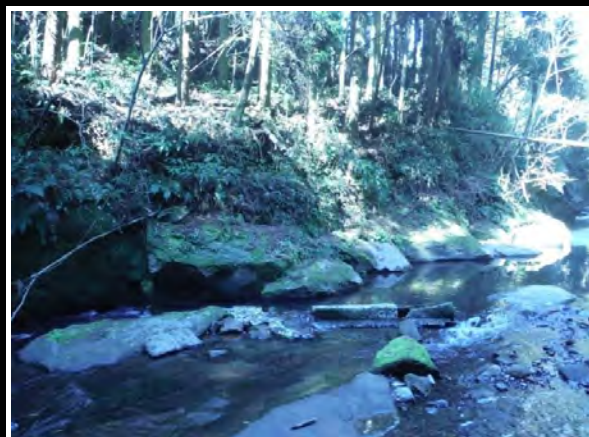
現況



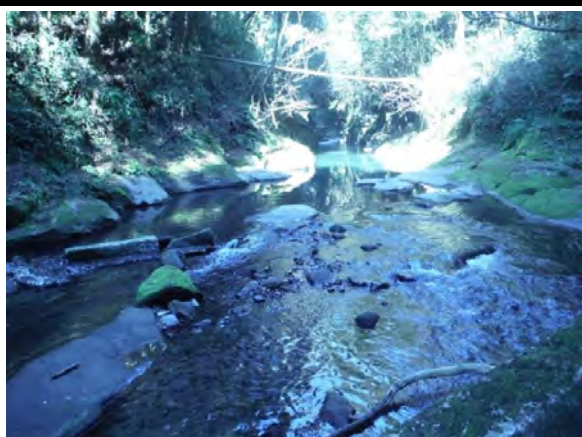
写真(景観3-1)



写真(景観3-2)



写真(景観3-3)



写真(景観3-4)

構成要素	景観	記録年月日
		平成29年2月15日
保全すべき価値		

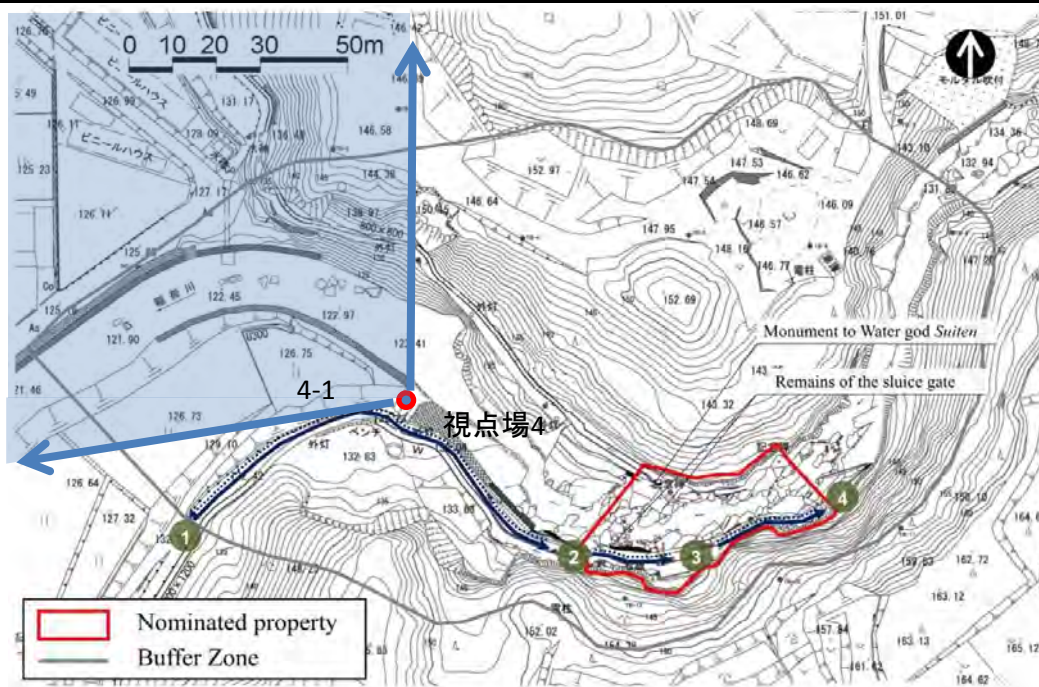
	
写真(景観3-5) 展望景観の変化	
特になし。	
誘導・修景等の対応 —	

個 票 (構成資産名: 関吉の疎水溝)

N0.5

構成要素	景観	記録年月日
		平成29年2月15日
保全すべき価値		

眺望地点の概要



現況



写真(緩衝地帯の縁→外)

展望景観の変化

特になし。

誘導・修景等の対応

平成○年度 年次報告書

平成○年○月
○○地区保全協議会

（
モニタリング実施者：○○○○
モニタリング責任者：○○○○
）

ID・構成資産名

目次

- 1 基本情報
- 2 保護状況（指定等）
- 3 構成資産に与える影響等に関する観察
- 4 構成資産内の構成要素ごとの物理的改変に関する観察
- 5 構成資産の修復・整備活用事業等の実施に関する観察
- 6 インタープリテーション
- 7 保護に関する団体等
- 8 管理保全に関する関係者間の協力体制
- 9 総括（評価）

1 基本情報

	構成資産	緩衝地帯
範囲	(図面)	(図面)
面積	ha	ha
用途		

2 保護状況（指定等）

	構成資産	緩衝地帯
範囲	(図面)	(図面)
指定 状況	史跡（文化財保護法）2013.8.17 追 景観重要建造物（景観法）2012.4.1 ※追加指定を経ている場合は、最終の追加指定の日付のみ記載し、日付 の右に「追」を付す。	

3 構成資産に与える影響等に関する観察

負の影響	観察指標	指標の測定内容 及び手法	周期	観察記録主体	今年度の結果	前年度の結果	コメント

4 構成資産内の構成要素ごとの物理的変化に関する観察

構成要素	観察指標	指標の測定内容 及び手法	周期	観察記録主体	今年度の結果	前年度の結果	コメント

5 構成資産の修復・整備活用事業等の実施に関する観察

（主に修復に関するもの）

事業名	事業概要	事業主体	開始年度	H○事業費	H○事業費	補助金等

（主に整備活用に関するもの）

事業名	事業概要	事業主体	開始年度	H○事業費	H○事業費	補助金等

6 インタープリテーション
(出版物)

名称	作成（改訂）主体	規格・頁数	発行部数	言語	概要	補助金等
コメント						

(Web サイト)

名称	概要	アドレス	更新回数	アクセス数
コメント				

(シンポジウム・講座等)

名称	開催日	事業主体	参加者数	概要
コメント				

(教育活動)

名称	開催日	事業主体	参加者数	概要
コメント				

(教育活動用素材)

名称	作成（改訂）主体	規格・頁数	発行部数	概要	補助金等
コメント					

(キャパシティビルディング)

名称	開催日	事業主体	参加者数	対象者	概要
コメント					

(調査・研究活動)

調査・研究名称	事業主体	期間	概要	補助金等
コメント				

(地域社会が関与する活動)

活動名称	開催日	事業主体	参加者数	参加者・団体・活動概要
コメント				

7 保護に関する団体等
(管理団体等の概要)

名称	所有者/管理者	従事者，従業員数	団体の概要

(NPO，ボランティア等，構成資産に関わる団体等の概要)

名称	団体の種別	従事者，従業員数	団体の概要

8 管理保全に関する関係者間の協力体制
(地区別協議会の開催状況)

(第〇回)〇〇〇〇年〇月〇日		
区分	議事・報告事項	備考

(サイト別ワーキンググループの開催状況)※開催なしの場合、記載せず

(第〇回)〇〇〇〇年〇月〇日		
区分	議事・報告事項	備考

9 総括（評価）

平成 28 年度
年次報告書

平成 29 年 5 月
集成館地区管理保全協議会

（
 モニタリング実施者：各管理者
 モニタリング責任者：鹿児島市
）

【目 次】

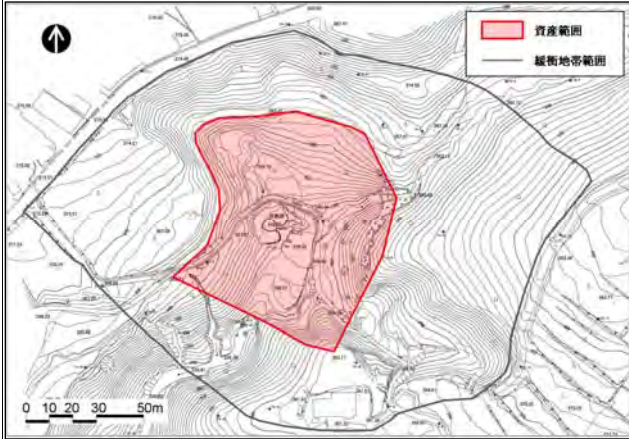
1	基本情報	1
2	保護状況（指定等）	6
3	構成資産に与える影響等に関する観察	9
4	構成資産内の構成要素ごとの物理的改変等に関する観察	12
5	構成資産の修復・整備活用事業等の実施に関する観察	15
6	インタープリテーション	16
7	保護に関する団体等	23
8	管理保全に関する関係者間の協力体制	24
9	総括（評価）	25

1 基本情報

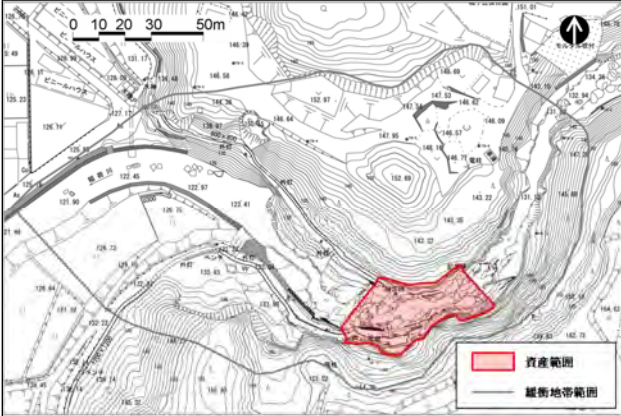
(1) 2-1 旧集成館

	構成資産	緩衝地帯
範囲	(図面) 	(図面) 
面積	9.98ha	61.09ha
用途	名勝庭園、史跡、国道・市道、準用河川、博物館、歴史資料館、商業施設、個人所有の宅地、山林	名勝庭園、史跡、山林、国道・市道、準用河川、個人所有の宅地、海水浴場、海岸、商業施設

(2) 2-2 寺山炭窯跡

	構成資産	緩衝地帯
範囲	(図面) 	(図面) 
面積	0.64ha	2.01ha
用途	史跡（炭窯跡）、山林、自然遊歩道	史跡、山林、自然遊歩道
コメント	各構成資産及び緩衝地帯の面積及び用途については、前年度から変更はない。	

(3) 2-3 関吉の疎水溝

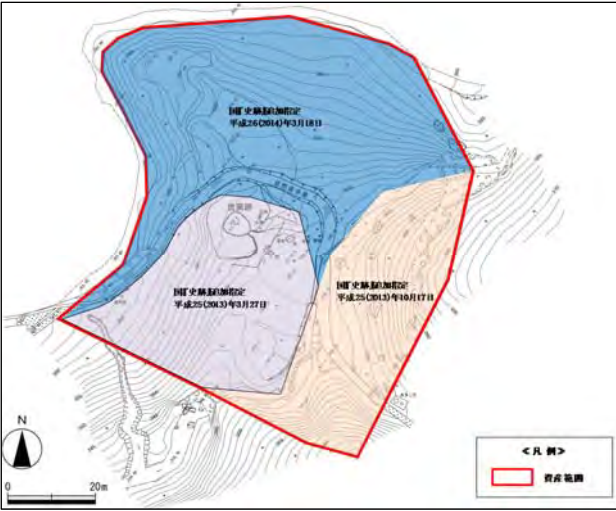
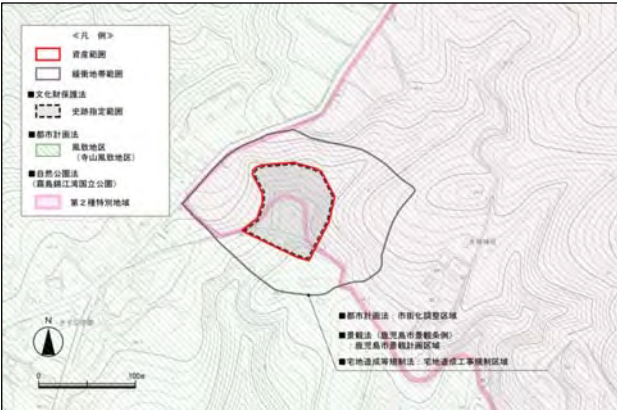
	構成資産	緩衝地帯
範囲	(図面) 	(図面) 
面積	0.11ha	1.93ha
用途	河川、水路（疎水）、農道	河川、水路（疎水）、農道、農地、山林、採石場

2 保護状況（指定等）

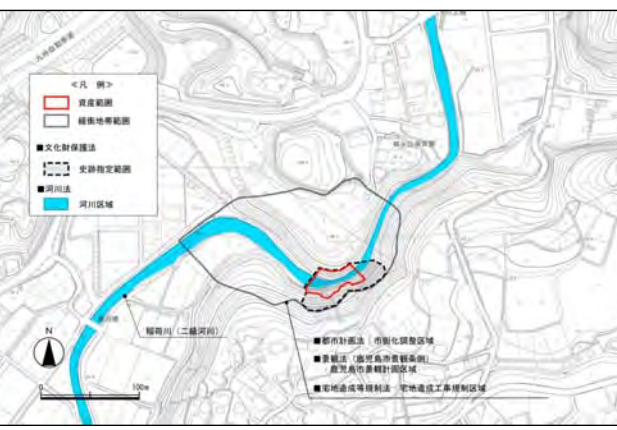
(1) 2-1 旧集成館

	構成資産	緩衝地帯
範囲	(図面) 	(図面) 
指定状況	文化財保護法 史跡「旧集成館 附寺山炭窯跡 関吉の疎水溝」2014.3.18 追 史跡「鹿児島紡績跡」2015.3.10 追 名勝「仙巖園附花倉御飯屋庭園」2013.10.17 追	霧島錦江湾国立公園第二種特別地域・普通地域（自然公園法） 景観形成重点地区（景観法／鹿児島市景観条例、磯地区景観計画） 2014.4.1 施行 風致地区（都市計画法）、名勝（文化財保護法）

(2) 2-2 寺山炭窯跡

	構成資産	緩衝地帯
範囲	(図面) 	(図面) 
指定状況	文化財保護法 史跡「旧集成館 附寺山炭窯跡 関吉の疎水溝」2014.3.18 追	霧島錦江湾国立公園第二種特別地域（自然公園法）、 風致地区（都市計画法） 景観計画区域（景観法／鹿児島市景観条例、鹿児島市景観計画）

(3) 2-3 関吉の疎水溝

	構成資産	緩衝地帯
範囲	(図面) 	(図面) 
指定状況	文化財保護法 史跡「旧集成館 附寺山炭窯跡 関吉の疎水溝」2013.3.27 追	河川区域（河川法）、宅地造成工事規制区域（宅地造成等規制法）、 景観計画区域（景観法／鹿児島市景観条例、鹿児島市景観計画）、 市街化調整区域（都市計画法）
コメント	各構成資産及び緩衝地帯における史跡・名勝の指定状況並びに各種法規制については、前年度から変更はなく、保護に万全を期している。	

3 構成資産に与える影響等に関する観察

負の影響		観察指標	指標の測定内容及び手法	周期	観察記録主体	28年度の結果	27年度の結果	コメント
自然災害	火山活動	爆発的噴火の回数 ※注1	桜島の爆発的噴火の回数を把握する。	毎月	気象庁	2回／月	36回／月	前年比で著しく減少している。(8月以降0回)
	地震	前兆現象の観測	地震計による前兆現象の観測を行う。(震度3以上)	随時	気象庁	4回	2回	熊本地震に伴い震度4：1回、震度3：3回を観測。地震直後の巡回、以後の経過観察では問題なし。
	土砂災害	土砂災害・崩壊地の調査	目視及び必要に応じて測量により、土砂災害・崩壊地の調査を行う。	随時	鹿児島市 鹿児島県 (河川)	1回	2回	5月の豪雨により花倉川左岸の護岸が中抜けした。左岸部は境界未確定であったため、市にて応急工事(護岸補修及び帯工)を行った。
	風水害	文化財のき損件数	文化財のき損件数による被害の把握を行う。	随時	鹿児島市 教育委員会	0件	0件	台風16号等による被害は発生していない。疎水溝(集成館口)は土砂の流入等の影響を注視していく必要がある。
	火災	火災発生件数	火災発生件数を把握する。	毎年	鹿児島市	0件	0件	火災の発生はない。
		防火設備の点検回数	防火設備の点検を行う。	毎年	鹿児島市 教育委員会 島津興業	2回	1回	問題なし。
		消火・防災訓練の実施回数	消火・防災訓練を行う。	毎年	鹿児島市 教育委員会 島津興業	1回	1回	文化財防火デーに毎年、消火訓練、非難誘導訓練を実施している。

【注1：桜島の爆発的噴火の回数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月当たり平均
平成27(2015)年度	112	169	64	14	5	46	0	0	0	0	22	5	437	36.4
平成28(2016)年度	15	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	20	1.7

負の影響		観察指標	指標の測定内容及び手法	周期	観察記録主体	28 年度の結果	27 年度の結果	コメント
観光 圧力	来訪者増加による建造物等への影響	見学者数 ※注 2	各資産を訪れる見学者の数を計測する。	毎月	島津興業 鹿児島市	仙巖園： 34,932 人/月 寺山炭窯跡： 406 人/月 関吉の疎水溝： 641 人/月	仙巖園： 40,435 人/月 寺山炭窯跡： 858 人/月 関吉の疎水溝： 1,160 人/月	世界遺産登録後、資産への影響は見られない。 今後も、見学者の動向を把握しながら、必要な対策を講じる。
		見学者用駐車場の利用台数	見学者用の駐車場を利用する自動車の台数を把握する。	毎月	島津興業 鹿児島市	仙巖園： 5,089 台/月 (うちバス 704 台) 関吉の疎水溝： 222 台/月 (うちバス 5 台)	仙巖園： 5,591 台/月 (うちバス 710 台) 関吉の疎水溝： 434 台/月 (うちバス 7 台)	各資産への影響は見られない。 今後も、駐車場の利用状況等を把握しながら、必要な対策を講じる。
開発 計画	資産内	計画の有無	計画の有無の把握	毎年	鹿児島市	0 件	0 件	想定される計画なし。
	緩衝地帯内	計画の有無	計画の有無の把握	毎年	鹿児島市	1 件	1 件	平成 27 年 12 月 22 日付けで、国道 10 号北バイパスは、資産、緩衝地帯及び周辺景観に対する影響を考慮した路線位置に都市計画決定が行われた。

【注2：見学者数】

旧鹿児島紡績所技師館(異人館)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月当たり平均
平成27(2015)年度	699	1,254	987	1,379	2,151	2,644	2,251	3,185	2,464	1,500	1,589	1893	21,996	1,833
平成28(2016)年度	1,050	1,281	624	1,009	1,768	1,391	1,296	1,348	1,393	790	937	1099	13,986	1,166

旧集成館機械工場(現尚古集成館)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月当たり平均
平成27(2015)年度	26,064	41,055	22,373	22,506	27,436	29,169	34,046	38,460	27,635	21,192	24,885	33,045	347,866	28,989
平成28(2016)年度	18,940	21,043	12,994	17,572	25,879	32,455	28,903	33,717	25,179	14,814	20,980	31,072	283,548	23,629

仙巖園

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月当たり平均
平成27(2015)年度	36,814	56,245	28,119	32,076	37,594	40,035	47,269	57,915	36,131	29,989	35,641	47,386	485,214	40,435
平成28(2016)年度	28,576	29,533	18,158	25,154	38,281	43,539	39,228	54,725	36,326	25,227	32,244	48,194	419,185	34,932

寺山炭窯跡

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月当たり平均
平成27(2015)年度	—	—	—	617	1,136	1,184	1,142	818	—	—	—	251	5,148	858
平成28(2016)年度	275	531	164	466	650	311	293	548	—	—	—	420	3,658	406

※ボランティアガイドによる土日祝日のカウント。(28年度:4/2～11/27、3/4～)

関吉の疎水溝

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月当たり平均
平成27(2015)年度	—	—	—	890	1,470	1,492	1,324	1,339	—	—	—	440	6,955	1,159
平成28(2016)年度	541	838	579	636	1,137	519	526	677	—	—	—	312	5,765	641

※ボランティアガイドによる土日祝日のカウント。(28年度:4/2～11/27、3/4～)

4 構成資産内の構成要素ごとの物理的変化に関する観察

構成要素	観察指標	指標の測定内容及び手法	周期	観察記録主体	28年度の結果	27年度の結果	コメント
重要文化財旧鹿児島紡績所技師館	木造建築物の状態	自然災害や風化等による建築物の劣化、損傷等の状況を把握する。	毎年	鹿児島市教育委員会	要是正6箇所 経過観察18箇所	9箇所	雨樋いの破損(6箇所)が見られるため、順次は正する必要がある。 基礎石のひび割れや窓ガラスの破損等は、経年変化を観察し、必要な対応を検討する。
重要文化財旧集成館機械工場	石造建築物の状態	自然災害や風化等による建築物の劣化、損傷等の状況を把握する。	毎年	島津興業	経過観察6箇所	1箇所	雨樋い、窓枠、扉、外壁石材等に見られる劣化部分は、経年劣化を観察し、必要な対応を検討する。
史跡旧集成館	遺構がある部分の地表面の状態	地表面の状態変化等について把握する。	毎年	島津興業	経過観察1箇所	—	地下遺構がある場所について大きな状況変化は見られないが、露出展示を行っている跡物場跡に雑草が生えているため、除去する必要がある。
	反射炉跡の石組み損数	石組のき損数について自然災害、風化による被害を把握する。	毎年	島津興業	経過観察1箇所	1箇所	石の表層が剥離している箇所がある。経年変化を観察していく。
	疎水溝(集成館口)の石組み損数	石組のき損数及び樹木の影響等について自然災害、風化による被害を把握する。	毎年	島津興業	要是正2箇所 経過観察2箇所	0箇所	石組の中で生育している樹木については、石組をき損する前に、伐採するなどの対策を実施する必要がある。石組の緩みについては、経年変化を観察していく。
史跡鹿児島紡績所跡	遺構がある部分の地表面の状態	地表面の状態変化について把握する。	毎年	島津興業 鹿児島市教育委員会	異常なし	—	地下遺構がある場所について大きな状況変化は見られないが、国道、商業施設等が立地していることから、引き続き経年変化を観察していく。

構成要素	観察指標	指標の測定内容及び手法	周期	観察記録主体	28年度の結果	27年度の結果	コメント
名勝仙巖園	建築物の劣化、損傷等の状況	自然災害や風化等による建築物の劣化、損傷等の状況を把握する。	毎年	島津興業	要是正3箇所（土蔵） 経過観察5箇所（望嶽楼、正門、宝蔵庫）	御殿屋根瓦の補修済み。	土蔵については、漆喰壁の剥落及び基礎石の劣化等が見られるため、専門家の意見の下、対応について検討する。 望嶽楼、正門、宝蔵庫については、経年変化を観察し、必要な対応を検討する。
	樹木等の植生調査	目視による樹木等の生育状況を把握する。	毎年	島津興業	経過観察2箇所	ヤクタネゴヨウの腐朽	概ね良好に管理されている。 ヤクタネゴヨウについては、27年度に樹木医に相談したうえで、樹高を下げるために幹上部及び太い枝の剪定を行っており、引き続き状況を観察する。
	石堀、石垣等のき損数（登り窯跡地含む。）	石垣のき損数について自然災害、風化による被害を把握する。	毎年	島津興業	要是正9箇所 経過観察39箇所	0箇所	登り窯跡地の石垣については良好な状態である。特に外縁の石垣において風化が見受けられることから、専門家の意見の下、対応について検討する。
	その他の石造物の石材の形状変更（鶴灯籠含む。）	目視による石材の風化状況を把握する。	毎年	島津興業	要是正1箇所 経過観察6箇所	異常なし	鶴灯籠については良好な状態である。 一部の石灯籠等については、風化が見られるため、要是正の建造物は、専門家の意見の下、対応について検討する。 その他は、経年変化を引き続き観察していく。
	その他庭園を構成する要素の状況	その他庭園を構成する要素について現状を把握する。	毎年	島津興業	経過観察6箇所	—	板塀の一部に劣化が見られることから、修繕や取替など適切な対応を行う。
景観（旧集成館）	視点場からの眺望確認	視点場からの目視による眺望の状況について把握する。	毎年	鹿児島市教育委員会	異常なし	—	眺望に関して異常はなかった。

構成要素	観察指標	指標の測定内容及び手法	周期	観察記録主体	28年度の結果	27年度の結果	コメント
炭窯跡	石組のズレ	石組のき損数について自然災害、風化による被害を把握する。	毎年	鹿児島市教育委員会	経過観察4箇所	0箇所	被害等は見られないが、石積の緩み、孕みが見られるため、27年度から実施している定点（動態）観測等を継続し、石組の状態を観察していく。
	樹木等の植生調査	目視による樹木等の生育状況を把握する。	毎年	鹿児島市教育委員会	異常なし	異常なし	資産に影響を与える樹木の生育は見られないが、引き続き観察を行い、必要がある場合は、伐採する。
炭窯の碑	石造物の風化	目視による石材の風化状況を把握する。	毎年	鹿児島市教育委員会	異常なし	異常なし	健全性は保たれている。
景観（寺山）	視点場からの眺望確認	視点場からの目視による眺望の状況について把握する。	毎年	鹿児島市教育委員会	異常なし	—	眺望に関して異常はなかった。
取水口の遺構	遺構の石組の状況	石組のき損数について自然災害、風化による被害を把握する。	毎年	鹿児島県鹿児島市	経過観察1箇所	0箇所	護岸石垣下部に洗掘による石組の一部欠損が見られることから、経年変化を観察し、必要な対応を検討する。
水天碑	樹木等の植生調査	目視による樹木等の生育状況を把握する。	毎年	鹿児島市教育委員会	異常なし	異常なし	資産に影響を与える樹木の生育は見られないが、周辺の斜面地の樹木の観察を行い、必要がある場合は、伐採を行う。
	石造物の風化	目視による石材の風化状況を把握する。	毎年	鹿児島市教育委員会	異常なし	異常なし	健全性は保たれている。
景観（関吉）	視点場からの眺望確認	視点場からの目視による眺望の状況について把握する。	毎年	鹿児島市教育委員会	異常なし	—	眺望に関して異常はなかった。

5 構成資産の修復・整備活用事業等の実施に関する観察

(主に修復に関するもの)

【資産範囲】

事業名	事業概要	事業主体	開始年度	H28 事業費	補助金等
寺山炭窯跡定点観測業務等	炭窯本体の石組の動態（定点）観測を実施し、石組の保存状態を分析する。	鹿児島市	平成27年度	486,000 円	国補助金 1/2
花倉川右岸補修工事	5月の豪雨に伴う右岸護岸の補修を行った。	島津興業	平成28年度	467,800 円	無
御殿の雨漏り修理	雨漏りのため、御殿屋根の瓦の補修を行った。	島津興業	平成28年度	6,480,000 円	無

【緩衝地帯】

事業名	事業概要	事業主体	開始年度	H28 事業費	補助金等
緊急予防治山事業	後背山腹内に点在する転石等の落下を予防するため、落石予防工等を実施。	鹿児島県	平成28年度	50,000,000 円	国庫補助 5.5/10
花倉川左岸補修工事	5月の豪雨に伴う左岸護岸の補修及び河床部の補修工事（帯工）を行った。	鹿児島市	平成28年度	1,186,000 円	無

(主に整備活用に関するもの)

【資産範囲】

事業名	事業概要	事業主体	開始年度	H28 事業費	補助金等
受付棟内外装改修工事	仙巖園受付棟の内外装改修を行った。	島津興業	平成28年度	33,700,000 円 (税抜)	無
磯珈琲館改修	飲食業の入居のため、主に駐車場整備・外構工事等を行った。	島津興業	平成28年度	15,100,000 円 (税抜)	無

事業名	事業概要	事業主体	開始年度	H28 事業費	補助金等
寺山自然遊歩道維持管理業務	寺山自然遊歩道の路面改良（雨水による土砂流出箇所）を行った。	鹿児島市	平成28年度	183,600 円	無
寺山自然遊歩道安全柵設置業務	寺山炭窯跡周辺の自然遊歩道に転落防止用の安全柵（ロープ柵）を設置した。	鹿児島市	平成28年度	493,560 円	無

【緩衝地帯】

事業名	事業概要	事業主体	開始年度	H28 事業費	補助金等
寺山自然遊歩道安全柵設置業務【再掲】	寺山炭窯跡周辺の自然遊歩道に転落防止用の安全柵（ロープ柵）を設置した。	鹿児島市	平成28年度	493,560 円	無
農道補修工事	寺山自然遊歩道砂利舗装の補修工事を実施した。	鹿児島市	平成28年度	300,000 円	無

6 インタープリテーション

(出版物)

名称	作成（改訂）主体	規格・頁数	発行部数	言語	概要	補助金等
「明治日本の産業革命遺産」普及啓発用 DVD	世界遺産協議会	8エリアごとに作成 10 分程度	56 枚	日本語	明治日本の産業革命遺産情報発信アプリを活用したDVD（スマートフォンを所有していない児童や高齢者が対象）	有
普及啓発用パンフレット	世界遺産協議会	A4, カラー24 頁	200,000 部	日本語	世界遺産価値等の理解増進を図るため、一般を対象に作成、各自治体等へ配布	有

名称	作成（改訂）主体	規格・頁数	発行部数	言語	概要	補助金等
スマートフォン・アプリ	世界遺産協議会	AndroidOS, iOS	1 式	日本語, 英語, 中国語（繁体・簡体）, 韓国語	世界遺産価値等の理解増進, エリア間の周遊促進による交流人口の拡大を図る	有
「明治日本の産業革命遺産」普及啓発用 DVD（英語版）コンテンツ	世界遺産協議会	約 20 分	1 コンテンツ	英語	外国人向けに遺産の価値やストーリー等を紹介する DVD コンテンツ	無
児童向けの遺産紹介チラシ	鹿児島県	A 4 版 1 枚	15,000 部	日本語	小学生向けに「明治日本の産業革命遺産」の県内構成資産を理解してもらうチラシを作成	無
鹿児島県の構成資産の PR ポスター	鹿児島県	B 1 判	100 部	日本語	ポスターを作成し, 空港, 公共施設等に配付	無
「集成館」リーフレット	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議	A4 三つ折りサイズ・8 頁相当	30,000 部	日本語	ユネスコ世界遺産ロゴ等の追加更新	無
登録 1 周年記念 PR グッズ（ウェットティッシュ）	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議	W145×H84	3,000 個	日本語	新規作成	無
登録 1 周年記念 PR グッズ（うちわ）	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議	レギュラーサイズ・両面カラー	2,000 本	日本語	新規作成	無
「集成館」まち歩きマップ	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議	4/6 判・折	40,000 部	日本語	ユネスコ世界遺産ロゴ等の追加更新	無
「集成館」ガイドブック	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議	A6・24 頁	20,000 部	日本語	ユネスコ世界遺産ロゴ等の追加更新	無
鹿児島マラソン応援用小旗	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議	W297×H210	1,000 本	日本語	世界遺産 PR のため鹿児島マラソン応援用小旗を作成	無

名称	作成（改訂）主体	規格・頁数	発行部数	言語	概要	補助金等
「明治日本の産業革命遺産」フラッグ	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議	W550×H900	40 基	日本語	通り会による世界遺産フラッグの掲出	無
登録 1 周年 PR 看板	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議	W9400×H1200	1 箇所	日本語	市役所本庁正面玄関前に掲出	無
世界遺産ラッピングバス広告	鹿児島市	空港連絡バス	1 車両	—	市内中心部から鹿児島空港を結ぶバスの車体広告	無
共通デザイン道路案内標識	鹿児島県、鹿児島市	県道、市道	24 基	日本語、英語	8 県 11 市共通の産業遺産ロゴを掲載した道路案内標識の整備	無
コメント	登録 1 周年記念グッズやリーフレット、スマートフォン・アプリ等を活用し、世界遺産関連のイベントや講座、観光プロモーション等の際に配布・活用するなど、世界遺産の価値や魅力の情報発信及び理解増進とともに、エリア間の周遊促進による交流人口の拡大に努めている。					

(Web サイト)

名称	概要	アドレス	更新回数	アクセス数
「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」ホームページ（世界遺産協議会等ホームページ）	世界文化遺産登録に契機に、協議会、（一財）産業遺産国民会議及び内閣官房と連携して、「明治日本の産業革命遺産」ホームページを新たに開設し、世界遺産としての価値やインタープリテーション活動、協議会等の取組等を紹介（H27.7.2 開設）	http://www.japansmeijiindustrialrevolution.com/	随時	79,017 件
集成館及び「明治日本の産業革命遺産」関連ページ（鹿児島市ホームページ）	集成館の価値や資産の概要、「明治日本の産業革命遺産」の取組経緯、交通アクセスなど、世界遺産に関連する多様な情報等を紹介	http://www.city.kagoshima.lg.jp/kanko/sekaiisan/top/index.html	随時	5,923 件

名称	概要	アドレス	更新回数	アクセス数
「かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議」関連ページ（鹿児島市ホームページ）	近代化産業遺産を活用した取組を進める「かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議」について紹介	http://www.city.kagoshima.lg.jp/kanko/sekaiisan/pa-tona-sippu_gaiyou.html	随時	222 件
コメント	世界遺産としての価値やインタプリテーション活動、構成資産の概要、交通アクセス、パートナーシップ会議による協働の取組状況など、世界遺産に関連する多様な情報発信を行い、普及・啓発や理解増進に努めている。			

(シンポジウム・講座等)

名称	開催日	事業主体	参加者数	概要
近代化産業遺産普及・啓発事業（一般県民に対する理解増進）	12/11（南大隅町） 1/14,15（奄美地域） 1/28（霧島市）	鹿児島県	合計 178 名	集成館事業関連資産が残る地域住民を対象に、「明治日本の産業革命遺産」県内構成資産と地域の資産とのつながりを知ってもらうため、バスツアー及び講演会を開催した。
「明治日本の産業革命遺産」登録1周年記念トークショー	2月4日	鹿児島県	約 1,000 名	「明治日本の産業革命遺産」世界遺産登録1周年を記念し、本県の構成資産の価値や意義、歴史的背景等を県内外に発信するためトークショーを開催した。
「明治日本の産業革命遺産」シンポジウム	10月2日	鹿児島県	約 170 名	「これはすごい!!関吉の疎水溝と集成館事業～世界遺産で地域はこう変わる～」と題し、世界遺産を活かした地域活性化について、専門家の基調講演及び関係者によるシンポジウムを開催した。
デジタルドキュメンテーション展	5月5日～ 3月31日	世界遺産協議会	—	大画面を用いたパノラマ映像（Google リキッドギャラクシー）により、23 資産を一体的に情報発信するため、各エリア（鹿児島、荒尾、長崎、北九州）を巡回して開催した。

名称	開催日	事業主体	参加者数	概要
かごしま世界文化遺産めぐりバスツアー	8月14・21日 9月17・18日 11月12・13・19・20日（合計8日間）	鹿児島市	合計 236 名	世界遺産としての価値や集成館事業についての理解増進を図るため、構成資産を巡るバスツアーを実施した。
近代化産業遺産おもてなし講座	7月19・20日 8月30日 1月11日	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議	合計約 90 名	来訪者へのおもてなしを充実するため、タクシー乗務員、バスガイド、ホテル関係者等を対象に、遺産の概要や価値、外国人対応などについての講座を開催した。
ガイド団体連絡会	10月14日	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議	8 ガイド団体、行政関係者	来訪者の増加や外国人観光客に対応するため、ガイド団体間の交流や連携を行う連絡会を開催した。
市民向け講座	10月29日 11月12日	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議	合計 75 名	遺産の価値や魅力について、市民の方々に理解を深めていただくための講座を開催した。
遺産を活用したウォーキングイベント	8月21日 10月10日 11月23日	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議	合計 300 名	遺産を活用した地域活性化を図るため、市民団体の企画・運営によるウォーキングイベント（関吉の疎水溝ふしぎ発見ミステリーツアー、よしの兵六歴史街道ウォーク、心岳寺詣り）を実施した。
維新ふるさと博で明治日本の産業革命遺産「集成館」をPR！	10月29・30日	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議	合計約 200 名	近代化産業遺産のファン拡大を図るため、大学生の企画・運営による維新ふるさと博での「集成館」PR（おもちゃの斉彬大砲づくり、紙芝居など）を実施した。
おはら祭で明治日本の産業革命遺産「集成館」をPR！	11月3日	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議	約 200 名	近代化産業遺産のファン拡大を図るため、大学生の企画・運営によるおはら祭での「集成館」PR（オリジナルパネルの展示、おもちゃの斉彬大砲で射的大会など）を実施した。

名称	開催日	事業主体	参加者数	概要
志学館大学文化祭 (銀杏祭)で「集成館」をPR!	11月19・20日	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議	合計約250名	近代化産業遺産のファン拡大を図るため、大学生の企画・運営による志学館大学文化祭(銀杏祭)での「集成館」PRブースの設置した。
セミナー&まち歩き「斉彬の意志を受け継いだ二人・西郷どんと五代さま」	11月26日	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議	約30名	近代化産業遺産のファン拡大を図るため、市民団体の企画・運営によるセミナー&まち歩きを実施した。
世界文化遺産に関する市政出前トーク	6月7日、8月22日、9月5日、11月25日、11月28日、12月14日	鹿児島市	合計137名	市職員が町内会などの任意団体を対象に出前形式で講座を実施した。
コメント	「明治日本の産業革命遺産」に関連するイベントや講座を市民やガイド、観光関連業者などを対象に実施し、遺産の価値や魅力の情報発信、理解増進を図っている。今後も、より多くの来訪者等への情報発信、理解増進を図るため、引き続き効果的な取組みを推進する。			

(教育活動)

名称	開催日	事業主体	参加者数	概要
近代化産業遺産普及・啓発事業 (児童・生徒に対する理解増進)	7/7～9/10 募集 11/29 結果発表 12/17 表彰式	鹿児島県	応募作品数:66 作品	鹿児島県内の小学生を対象に、「明治日本の産業革命遺産」県内構成資産をテーマにした作文コンクールを実施した。
近代化産業遺産出前授業	4月～3月	鹿児島市	開催 12回 合計 857名	世界文化遺産に詳しい県内講師による小中学校での特別授業を開催し、集成館事業を始めとする幕末・明治維新期の歴史に対する理解を深めるとともに、子供たちの郷土愛を育んだ。

名称	開催日	事業主体	参加者数	概要
教職員現地見学会	8月9日	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議	15名	遺産の概要や価値などについて理解を深め、学校教育活動の促進を図った。
尚古集成館講座 ならびに 教職員講座	7月9日、29日、 8月3日、6日、 9月3日、10月8日、 12月3日	島津興業	開催7回 合計215名	歴史に興味を持つ一般参加者ならびに教職員を対象に講座・研修会を開催し、集成館事業の理解増進を図った。
小中学生向け研修会	5月18日、26日、 6月9日、 9月23日、26日、 10月19日、21日、26日、 28日、 11月4日、5日、 2月16日	島津興業	開催12回 合計1,060名	小中学生を対象に現地研修会を開催し、「明治日本の産業革命遺産」及び集成館事業の理解増進を行った。
コメント	児童・生徒を対象に、作文コンクールや出前授業等を実施するとともに、教職員を対象に講座・研修会を実施し、「明治日本の産業革命遺産」の理解増進を図った。今後とも、遺産への理解が進むよう、学校や関係機関等と連携して取り組んでいく。			

(教育活動用素材)

名称	作成(改訂)主体	規格・頁数	発行部数	概要	補助金等
かごしまタイムトラベル	鹿児島県	A4, 22頁	50,000部	授業で活用する副読本として、県下の小学校5年生全員に配布した。	無
学習普及啓発用文具(下敷き)	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議	A4・両面	6,000枚	遺産の価値や魅力について学習するきっかけとなる文具(下敷き)を新規作成し、市内の小学5年生児童全員に配布した。	無

名称	作成（改訂）主体	規格・頁数	発行部数	概要	補助金等
学習指導用リーフレット	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議	A3・両面	500 部	「明治日本の産業革命遺産」を小学校の授業の題材として取り上げてもらうための教職員用参考資料となるリーフレットを作成（増刷）し、市内の小中学校に配布した。	無
コメント	学習普及啓発用文具や学習指導用リーフレットといった教育活動用素材の作成・配布を行い、「明治日本の産業革命遺産」の理解増進を図った。今後とも、遺産への理解が進むよう、学校や関係機関等と連携して取組んでいく。				

（キャンペーンビディング）

名称	開催日	事業主体	参加者数	対象者	概要
管理保全に係る研修会	5 月 17 日 2 月 10 日	世界遺産協議会	合計約 80 名 (鹿児島市 4 人参加)	「明治日本の産業革命遺産」関係自治体職員	管理保全の知識や技術の向上を図るため、初任者を対象とした講習や、外部講師を招いた講話による研修を開催した。
「明治日本の産業革命遺産」ガイド研修	11 月 15 日～16 日	世界遺産協議会	合計 90 名	各エリアのガイド等、関係自治体職員	世界遺産価値等の理解増進を図るとともに、ガイド活動における関係地域間の連携・交流を深めた。
コメント	「明治日本の産業革命遺産」の価値や管理保全等について学ぶとともに、関係地域におけるガイドの連携・交流を深めた。今後も、関係者の能力の向上が図られるよう、管理保全関係者やガイド等を対象にした研修の充実を図っていく。				

（地域社会が関与する活動）

活動名称	開催日	事業主体	参加者数	参加者・団体・活動概要
「旧集成館」周辺の清掃活動	7 月 24 日 2 月 26 日 3 月 12 日	磯町内会	延べ約 50 名	地元町内会で「旧集成館」周辺の清掃活動を実施した。

活動名称	開催日	事業主体	参加者数	参加者・団体・活動概要
「旧集成館」でのおもてなし活動	11 月 19 日 3 月 5 日	磯町内会	延べ約 40 名	異人館来訪者へのおもてなし活動や鹿児島マラソン 2017 での世界遺産 P R 活動を実施した。
「寺山炭窯跡」周辺の清掃活動	毎月 1 回	吉野町東菖蒲谷町内会	延べ約 120 名	地元町内会で「寺山炭窯跡」周辺の清掃活動を実施した。
炭焼体験	2 月 14 日(火入れ) 2 月 18 日(窯出し)	吉野町東菖蒲谷町内会	延べ約 30 名	地元町内会で炭焼体験を実施した。
「関吉の疎水溝」周辺の清掃活動及び疎水溝の維持管理	通年	下田町町内会	延べ約 150 名	地元町内会等で「関吉の疎水溝」周辺の清掃活動や灌漑用水の維持管理を実施した。
「関吉の疎水溝」周辺の植栽活動	11 月 2 日、 2 月 16 日	下田町町内会	延べ約 30 名	地元町内会で「関吉の疎水溝」周辺の植栽活動（菜種の播種、あじさいや桜並木の維持管理）を実施した。
大学生による遺産周辺の清掃活動	年 7 回	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議	延べ約 100 名	大学・短大生で遺産周辺の清掃活動と勉強会を実施した。
ボランティアガイド活動（定点）	土日祝日（一部冬季期間中を除く）	鹿児島観光コンベンション協会	延べ約 860 名	異人館、寺山炭窯跡、関吉の疎水溝において、遺産の価値や魅力を伝えるため、土日祝日（寺山・関吉：12～2 月の冬季期間を除く）に定点ガイドを実施した。
ボランティアガイド活動（まち歩き）	通年	鹿児島観光コンベンション協会	延べ約 140 名	かごしまボランティアガイドにより、「世界文化遺産の地『集成館』を歩く」コースの案内を実施した。
コメント	かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議において、地元町内会等による遺産周辺の清掃や植栽、おもてなしなどの地域魅力アップにつながる活動を行うとともに、遺産の価値や魅力を伝えるため、ボランティアガイドによる定点ガイド等を実施している。今後も活動が継続的に実施されるように、行政機関も連携、協力していく。			

7 保護に関する団体等

(管理団体等の概要)

名称	所有者/管理者	従事者、従業員数	団体の概要
株式会社 鹿島津興業	名勝庭園、史跡、旧集成館機械工場（現尚古集成館）等の所有者	【資産管理保全に係る従事者数】 尚古集成館 4名 仙巖園 54名	尚古集成館（歴史博物館）、名勝仙巖園の運営。 史跡、機械工場の管理保全は、尚古集成館、名勝庭園内の管理保全は仙巖園の園内管理課。
鹿児島市	旧鹿児島紡績所技師館の所有者、市道、河川の管理者	【資産管理保全に係る従事者数】 所属長 3名、行政職 5名	地方公共団体（職員数 3,706名）。資産の管理保全を所管しているのは、文化財課、市道・河川の管理は道路管理課と河川港湾課。

(NPO、ボランティア等、資産に関わる団体の概要)

名称	団体の種別	従事者、従業員数	団体の概要
かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議	任意団体	約 30 名	26 年 3 月の「かごしま近代化産業遺産協働行動計画」の策定時に設立。地域住民、NPO、事業者や関係機関等で構成し、各団体が連携し、近代化産業遺産の保全活動と地域活性化をめざした取組を実施した。
上町タウンマネジメント	任意団体	約 20 名	磯地区の最寄駅である鹿児島駅周辺で、旧城下町の上町の地域住民が中心となって、まちづくり活動を実施。パートナーシップ会議の中心的なメンバーとしても活動した。
NPO法人 まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会	NPO（特定非営利活動）法人	約 5 名	歴史・地理、自然をまなび、まちづくりを考えるNPOとして、近代化産業遺産のまち歩きや講座などを実施した。

8 管理保全に関する関係者間の協力体制

(地区別協議会の開催状況)

区分	議事・報告事項	備考
(第1回協議会)平成 28 年 5 月 9 日		
①「戦略的枠組み」に定めるフィードバックの仕組み	平成 27 年度年次報告書（案）について	
②管理保全計画（CMP）の実施・改善・修正	修復・整備活用計画について	
④その他	地区別保全協議会規約の改正について	
(第1回幹事会)平成 28 年 10 月 7 日		
①「戦略的枠組み」に定めるフィードバックの仕組み	新たなモニタリング・カルテについて	
②管理保全計画（CMP）の実施・改善・修正	修復・整備活用計画について	
(第2回幹事会)平成 28 年 12 月 20 日		
②管理保全計画（CMP）の実施・改善・修正	修復・整備活用計画について	

9 総括（評価）

(1) 整備事業等について

① 全体

- 各構成資産内の表示について、平成27年に、集成館事業として統一デザインにより、解説板、誘導サイン板を整備した。今後の調査研究の成果等を踏まえ、必要に応じて、解説板の更新・追加を行うなど案内機能の充実を図る。

② 旧集成館

- 仙巖園受付棟については、来訪者動線に応じた受付のレイアウト変更、磯珈琲館については、飲食店入居に伴い内外装等の改修を行った。今後も、来訪者の受入環境の改善・充実に努める。
- 仙巖園御殿屋根については、雨漏り発生に伴う瓦の補修工事、大雨により一部崩落し土砂が流出した花倉川の石垣については、護岸及び河床部の補修工事を行った。今後も、経過観察を行い、名勝としての景観に配慮しながら、必要な措置を講じる。

③ 関吉の疎水溝

- 転落防止柵の点検・補修や台風通過後の周辺清掃、河川区域内の流木等の撤去など、来訪者の安全で快適な見学環境を確保するため、必要な対応を図った。

④ 寺山炭窯跡

- 平成27年11月から引き続き、石組の動態を調査する目的で定点観測を実施した。今後も、定点観測を実施し、専門家の意見を聞きながら、石組の状態を慎重に分析し、今後の具体的な対策を検討する。
- 自然遊歩道については、凹凸のある路面の改良工事を行うとともに、転落防止用の安全ロープ柵を設置した。今後も、来訪者の安全で快適な見学環境の確保に努めていく。

(2) インタープリテーションについて

- 作成したリーフレットやグッズ、スマートフォン・アプリ等を活用し、来訪者等への広報啓発に努めた。引き続き、世界遺産の価値の魅力の情報発信及び理解増進とともに、エリア間の周遊促進による交流人口の拡大に努めていく。
- 集成館のガイダンス機能については、現状の各施設の展示内容の役割分担を踏まえ、磯地区のガイダンス施設全体として、「明治日本の産業革命遺産」及び集成館事業が全て理解できるよう、今後、ガイダンス機能の充実を検討する。